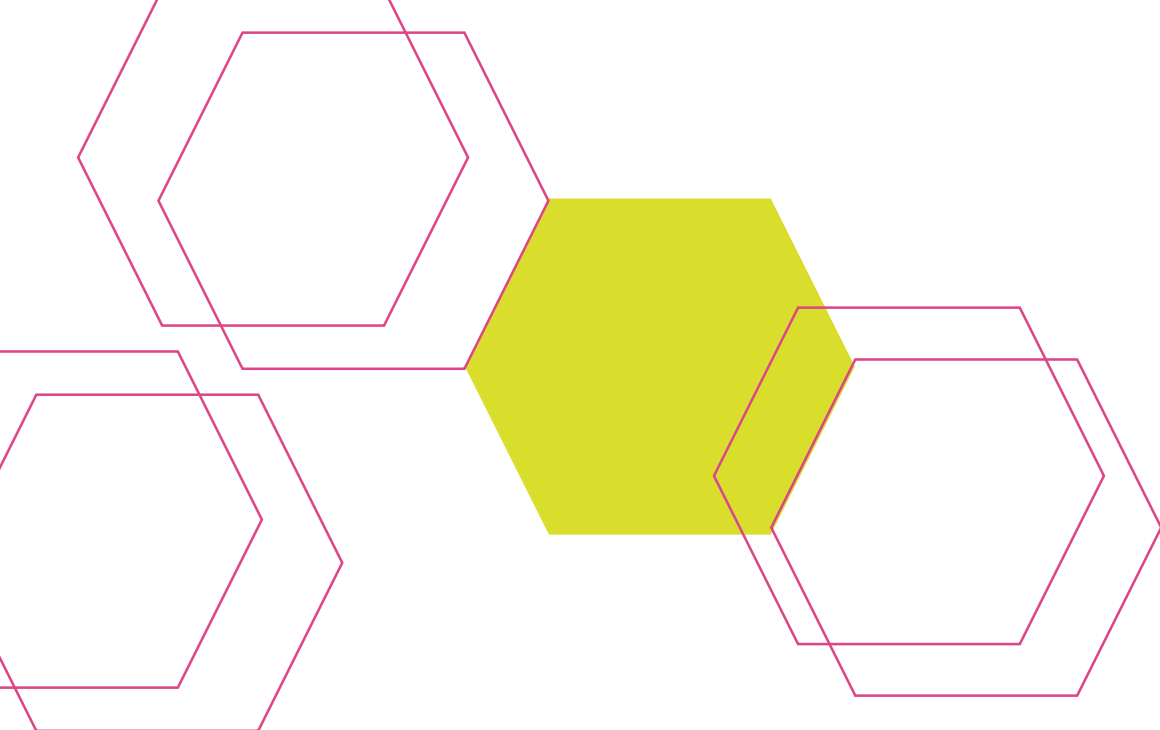
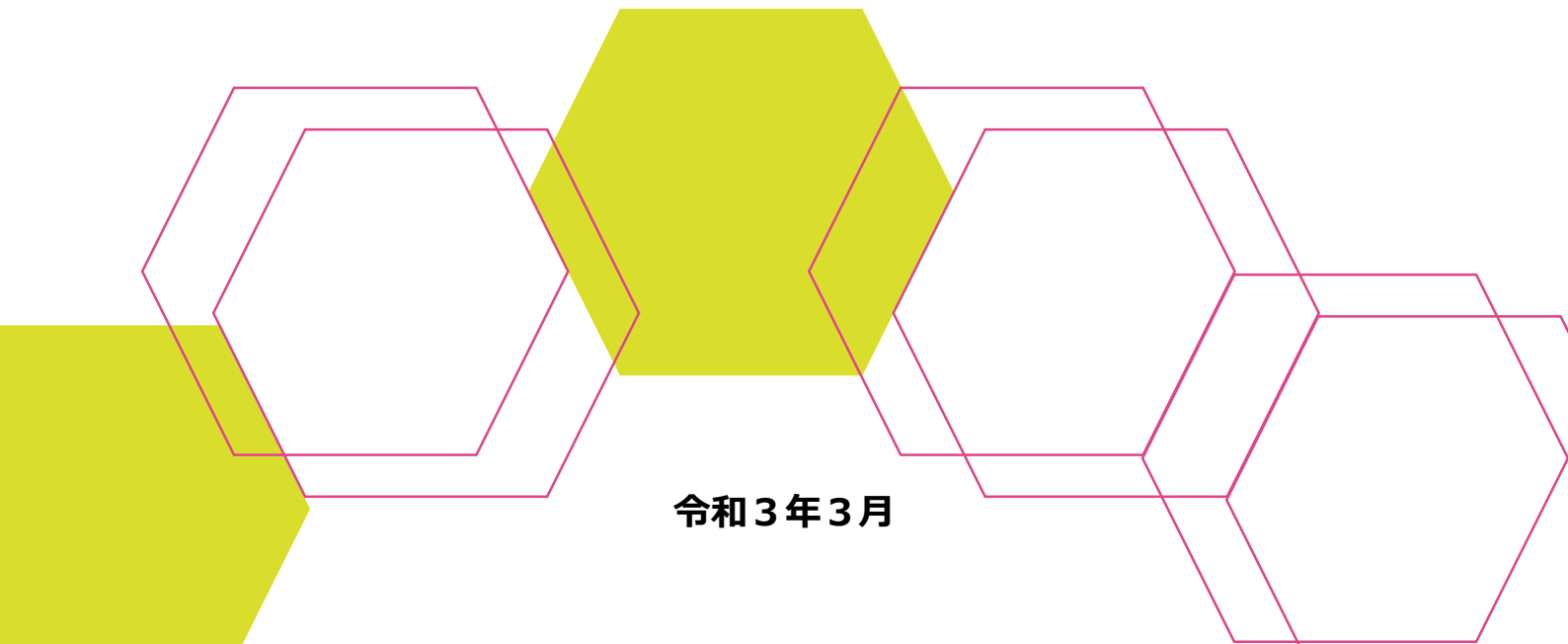




コロナ禍でも学びを止めない！ キャリア教育レポート

～キャリア教育アワード受賞企業・団体がみた2020年～

令和2年度キャリア教育事業調査
経済産業省



令和3年3月

～キャリア教育を前に進めていくために～ —Build forward better—



益 一哉
東京工業大学学長

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、学校の休校に伴うカリキュラムの変更や対面で行う活動の制限など、前例のない事態が生じました。このような事態を受け、今年度は、先進的なキャリア教育の取組を行う企業・団体に対し経済産業大臣表彰を行う「キャリア教育アワード」の募集を中止せざるを得ませんでした。これまで10年間継続されてきたアワードが中断されたことについて、審査委員長として大変心苦しい思いです。

しかしながら、こうした状況下においても、キャリア教育に携わる企業や団体の方々が、学校現場と連携し、子どもたちの職業観の育成のため、職業人としての資質や能力の向上、働くことへの関心・意欲の高揚を通じた学習意欲の向上を目指した取組を継続するために、懸命に取り組まれておられます。

そこで、過去の「キャリア教育アワード」受賞実績のある企業・団体の皆様を対象としたアンケートやヒアリング調査を実施し、コロナ禍における取組事例やノウハウを集め、それらを広く公開することが、社会全体におけるキャリア教育の前進に役立つのではないかと考えました。

この1年は、オンラインでも様々なことができるということが判明しましたが、特に遠隔地とのやりとりを円滑に行える利点を踏まえて、今後進展するであろう地域を越えた学校間・企業間連携において、参考になる点が多分にあるかと思えます。

本事例集には、オンライン教材を取り入れることで、子どもたちが原体験だけではない創造力を培う事例や、地域を限らず広く参加者を募ることができる学びの場づくりにつながった事例、また、コロナ禍に応じた授業内容の見直しなど、新たなチャレンジを多数掲載しております。できる限り多くの産業界の皆様、教育界の皆様に、本事例集をご活用いただき、キャリア教育を更によりよいものに作り上げていくこと（Build forward better）に繋げていただくことを期待しております。

最後になりましたが、今回の調査にご協力いただいた企業・団体の皆様には、心より感謝申し上げます。

令和3年3月吉日
キャリア教育アワード審査委員長
益 一哉

この調査のねらい

本調査は、産業界におけるキャリア教育の重要性に関する理解を促進すること、及びキャリア教育に関する企業・団体の取組を広げていくことを目的としました。

過去の「キャリア教育アワード」において受賞実績のある企業・団体を調査対象とし、受賞後における取組の好事例・ノウハウを集積しています。また、コロナ禍において、これらの企業・団体がどのような課題を抱え、工夫がなされたかを明らかにし、活動事例の情報発信をしていきます。

調査概要

●調査期間：令和3年1月8日（金）～2月8日（月）

●調査対象：第1回（2010年度）～第10回（2019年度）

キャリア教育アワード受賞の **123**企業・団体

●調査方法：郵送・メール・Web

※緊急事態宣言発令中で対象者がリモートワークであることが想定されたため、複数の方法で調査協力を依頼した。

※回答方法に関しては、郵送・メール・Webの中から任意で選択。

●回答数：**69**企業・団体 **72**件

※同一企業による複数のプログラム・活動の回答があった。

●有効回答数：**72**件

・調査主体：経済産業省経済産業政策局産業人材政策室

・調査実施機関：一般社団法人キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会
キャリア教育事業調査事務局

調査結果 part1 ～受賞“その後”とコロナ禍の影響概況～

- アワード受賞後の変化 4p
- コロナ禍の影響と変化 5p

コロナ禍でもあきらめない！企業・団体の取組例 7p

今回の調査からは、コロナ禍でも子どもたちの学びを止めない・あきらめないための、企業・団体の様々な工夫が見えてきた。調査を通して見えてきた工夫・ノウハウを事例として共有し、学び合うことで、今後のキャリア教育の活動促進につなげていきたい。

コロナ禍での課題と新たな可能性に挑戦した企業・団体の取組例

オンラインでの工夫
感染症対策と

- 一般社団法人アルバ・エデュ 8p
- 一般財団法人エン人材教育財団 8p
- NPO法人キャリア教育研究所ドリームゲート 9p
- シャープ株式会社／シャープ特選株式会社 9p
- NPO法人JAE 10p
- 大日本住友製薬株式会社 10p
- 株式会社辻料理教育研究所 11p

新たな可能性

- 特定非営利活動法人アスクネット 11p
- 株式会社ダスキン 12p
- 西尾信用金庫 12p

アンケートに回答のあった企業・団体の取組・工夫をご紹介します！ 13p (五十音順)

株式会社アトリエテンマ／岩村田本町商店街振興組合／株式会社FCEエデュケーション／愛媛県中小企業家同友会／株式会社エデュケーションネットワーク／地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所／かわさきマイスター友の会／キャリア教育研究会／キリン株式会社（現キリンホールディングス株式会社）／清川メッキ工業株式会社／非営利型一般社団法人Nancy／株式会社熊谷組／株式会社ケミカル山本／特定非営利活動法人国際社会貢献センター／東日本旅客鉄道株式会社／NPO法人スマイル・プラネット／瀬戸キャリア教育推進協議会／有限会社せれくと／ソニー生命保険株式会社／株式会社ソシオエンジン・アソシエイツ／ダイドードリンコ株式会社／一般社団法人ディレクトフォース／徳島県信用保証協会／株式会社トゥワイス・リサーチ・インスティテュート／東京商工会議所／公益社団法人栃木県経済同友会／富山県中学生ものづくり教育振興会／一般社団法人ドリームマップ普及協会／特定非営利活動法人日本教育養成学会 NPOセルフディフェンスコミュニケーション開発／株式会社日本HP／練馬区／阪急阪神ホールディングスグループ（阪急阪神ホールディングス株式会社、阪急電鉄株式会社、阪神電気鉄道株式会社 他29社）／パナソニック株式会社／パナソニック株式会社 ライフソリューションズ社／富士通株式会社／ふくいの担い手づくりプロジェクト／社会福祉法人ぷろぼの／認定NPO法人very50／三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社／三菱電機株式会社／一般社団法人 未来教育推進機構・株式会社ワークアカデミー／横須賀商工会議所

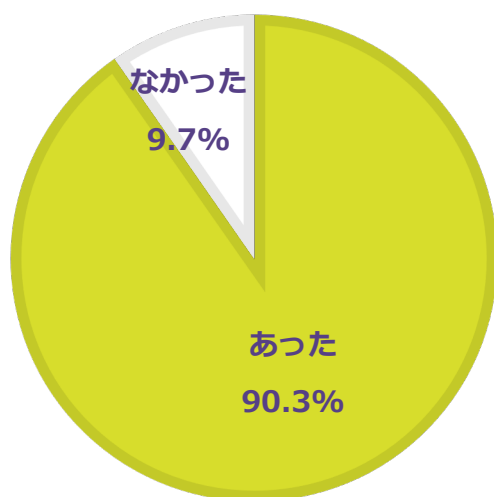
運営体制や効果測定・
ふりかえりの実態など

調査結果 part2 ～受賞した取組の現在～ 25p

（参考）キャリア教育アワードの概要 31p

調査結果 part1 ～受賞“その後”とコロナ禍の影響概況～

キャリア教育アワードを受賞したことで、変化や効果はありましたか？



あった	65件
なかった	7件

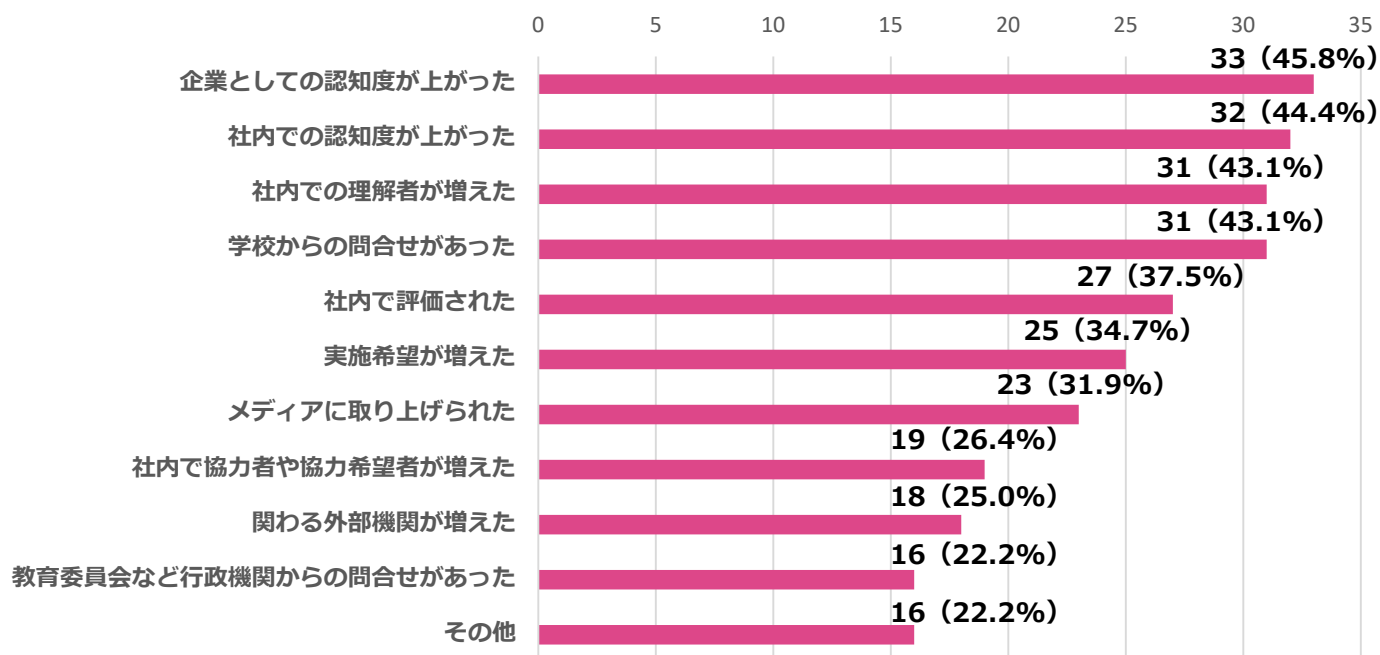
※有効回答数72件

Point

キャリア教育アワードを受賞することで、なんらかの「変化」や「効果」を感じた企業・団体が多いことがわかる。具体的な内容として、認知度（社内・社外）が上がったことに加え、「その他」の内容にあるような、関わる人のモチベーション向上も重要な要素であると考えられる。

受賞したことでの変化・効果の内容（複数回答）

※割合は有効回答数（n=72）を分母としたもの

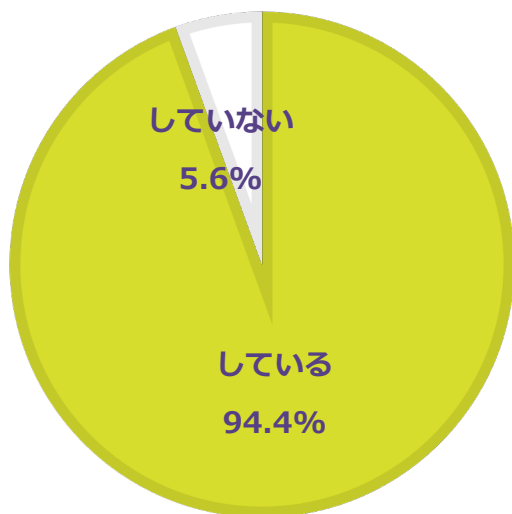


●「その他」具体的な内容●

- 受賞直後における**学校からの大きな反響**
- 本プログラムに関わる人々の**モチベーション向上**に貢献
- 受講希望者やその保護者からの**信頼の向上**
- **他市町からの大きな反響**
- 事例発表をする**機会の増加**
- 教育委員会等からの**多数の見学依頼**
- 自社での取組などを他社でもできる形に**プログラム化して提供**
- 受賞プログラムの実施運営を専門に行う**NPO法人の立ち上げ**

コロナ禍以降、活動を継続していますか？

※2020年3月以降～調査実施時点のキャリア教育に関する活動の継続有無

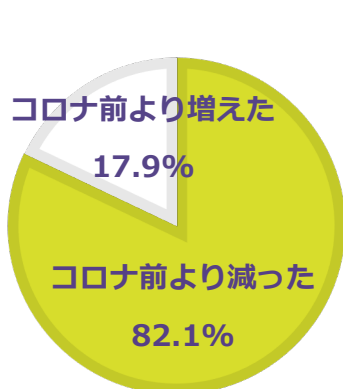


Point

コロナ禍以降も、実施校数など活動量が減る傾向はあったものの、**多くの企業が活動を継続**。感染症対策等、学校の状況が大きく変化し、企業・団体も学校の抱える課題や苦悩をリアルに共有しながらも、**積極的な対応を行ってきた**ことがうかがえる。

継続している場合

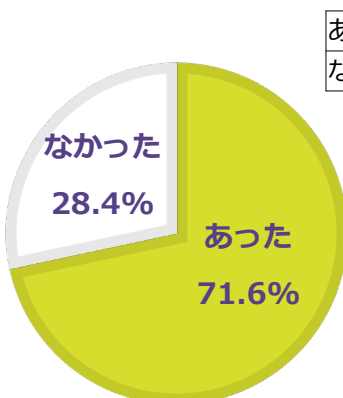
実施校数などの活動量の変化



●増やした取組●

- **コロナ禍以前の実績を活かして依頼を途切れさせずに信頼を獲得**
- **オンライン化による効果**
 - ・講師の移動時間をなくせた分、**カリキュラム内容を充実**
 - ・質疑応答の時間帯を調整して、**同日に複数校での実施を実現**
 - ・**全国どこからでも参加**できるため要望が増えた
 - ・会場のキャパシティの制約を受けずにより**多くの集客機会**を獲得
 - ・**オンライン、対面授業、併用など複数の提案**により**受講機会を増加**
 - ・オンラインで完結できる動画の提供も可能になった
- **事前ミーティングの回数を増やす**ことで要望に**柔軟に対応**
 - ・学校側の希望に対する**ヒアリング機会を増加**

実施校や教員からの要望の変化

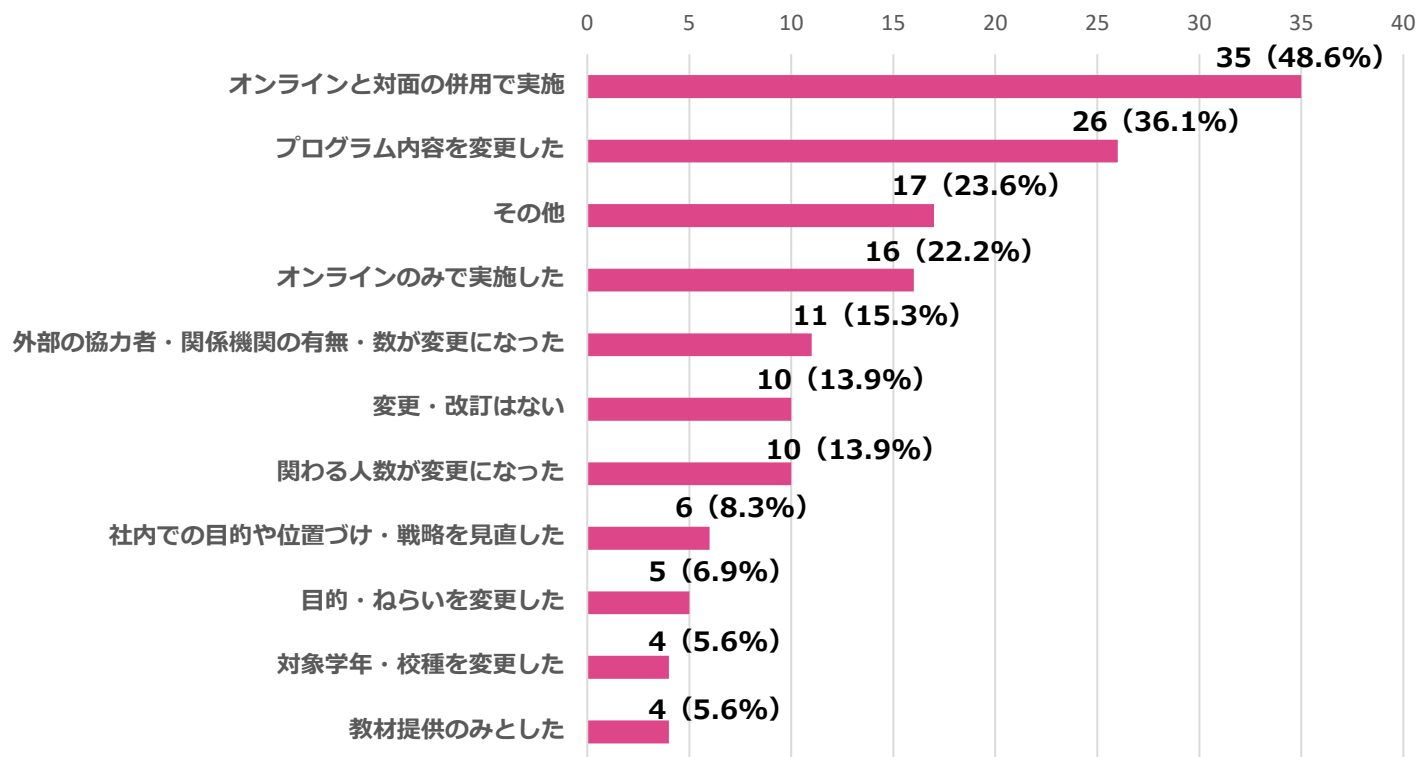


●要望・変化の具体的な内容●

- **子どもたちの沈んだ心を明るくしてほしい**
- **職場体験・見学に代わるプログラムの提供希望**
- **オンラインで実際に働く社員の話を聞きたい**
- **時間数を減らしてでも実施してほしい**
- **コロナ禍ではあるが、開催してほしいという強い要望**
- **オンライン対応の要望、教材提供**
- **学校内でオンラインツールを活用して教室を繋ぐ**
- **密にならないようにするための工夫**（グループワークを非接触で実施、ディスカッションの削減、屋外での実施、講師数の増加等）
- **感染予防を徹底してほしい**（マスク・パーティション等）
- **来校する外部の方の人数制限**
- **開催中止、延期**

コロナ禍に起因する変更・改訂の内容（複数回答）

※割合は有効回答数（n=72）を分母としたもの



●「その他」の内容●

- ワークの方法など細かい部分での工夫を行い対応
- 事前打合せ、授業実施時を含め、事務局の専任者が講師に必ず同行
- コロナを踏まえ、来年度の出前授業について、一部内容変更を検討
- プログラムメニューを増加
- オンライン版を新たに開発しようと外部企業と打合せを進行中
- 新プログラム策定の検討中
- 自社HP内に「理科教育コンテンツ紹介」のコーナーを新設
- 市教育委員会との協議を経て、今年度の開催は見送り
- コロナの影響により実施校は減少したものの、授賞時のプログラムを変更して新プログラムを開始
- 2020年度の出前授業は原則中止としたが、その他のカリキュラムは着実に実施
- 実施時期を変更の上、柔軟に対応
- 参加生徒数を制限してでも実施を継続
- オリパラ大会が開催延期となったことを機会に、教材提供期間を延長
- 感染予防対策の徹底を参加者に依頼
- 感染が引き起こす社会的な余波などを学校側や受講生と事前にしっかりと対話
- 話し合い活動や体育館・図書館などでの学年集合の一斉授業ができないため、実施方法を変更

Point

約半数の企業がオンラインと対面の“併用”にチャレンジしたことがわかる。その中で、内容を改訂したり、新たな活動・プログラムへと進化させるなど、制約だけでなく、新たな可能性が生まれたことも見てとれる。

コロナ禍でもあきらめない！ 企業・団体の取組例

オンラインでの工夫
感染症対策と

一般社団法人アルバ・エデュ
一般財団法人エン人材教育財団
NPO法人キャリア教育研究所ドリームゲート
シャープ株式会社／シャープ特選株式会社
NPO法人JAE
大日本住友製薬株式会社
株式会社辻料理教育研究所

新たな可能性

特定非営利活動法人アスクネット
株式会社ダスキン
西尾信用金庫

すべての子どもに話すちからを！

小学生向けには、従前の授業に加え、ディスカッション時に論理的に話を進めることができるようにする論理力を高める授業、世の中に変革をもたらすためのマインドセットを鍛える授業、中高生向けには、それらに加え、自らのキャリアパスを考える授業、質問力を上げる授業等、**学校からの要望に応じて計100種程度のプログラムを提供**。またオンラインでの授業に関しては、外部の著名人にも登壇を依頼し、**コンテンツの強化**を図った。21年2月末現在90名の講師との授業を実施した。大学ではゼミ単位や非常勤講師を引き受け、**就活や就職後に向けたキャリア教育を実施**。

一般社団法人アルバ・エデュ

受賞して
よかった
こと

社内での認知度が上がった／社内で評価された／社内での理解者が増えた／社内での協力者や協力希望者が増えた／企業としての認知度が上がった／メディアに取り上げられた／学校からの問合せがあった／教育委員会など行政機関からの問合せがあった／実施希望が増えた／関わる外部機関が増えた

コロナ禍でみえたこと

向かい合っただけのグループワークの、飛沫の飛散の可能性のある発声練習、体の接触のあるワークが困難になっている。

わたしたちの工夫

「子どもたちの学びを止めない」ということを第一に、全国一斉休校の宣言の翌営業日から「オンラインおうち学校」を開校。ご賛同いただいた各界の第一人者による**オンライン授業を無償にて提供**。

どう工夫した？

- 学校側に協力していただき1クラスを2つに分けて**少人数でディスタンス**を取り、ワークを実施。
- 発声練習では**事前に撮影した動画**を使用して**口元、喉元の動きを再現**。
- 向かい合わず、**同一方向を向き、ディスタンス**を取り、ワークを実施。
- ワークシートで書き取り、**発話を控えたワーク**を実施。
- 事前に図書館で教科書を借り、内容把握を行うとともに、学校に教科書の内容や進捗状況を細やかにヒアリングし、**アクティブラーニングに対応**した。

<https://www.alba-edu.org/>

en Career Creation Lab.

グループディスカッションやワークを通し、「誰のためにどんな仕事で役に立ちたいか」という問いについて考えながら、働くことの本質や自分自身、社会について考え、納得のいく就職活動と入社後の活躍を後押しする。プログラムを通して、【INNER CALLING】【WORK HARD】の**仕事価値観の醸成**を目指す。昨年3月より活動を**全面オンライン化**。また、社会課題・ビジネス課題解決プロジェクト（オンライン）を新たに設置。実社会での実践を通して**チームで成果を得る経験**をすることで、学生本人の考え方・価値観の醸成を促進する。 ※大学との連携講座も今年度はオンラインで実施。

一般財団法人エン人材教育財団

受賞して
よかった
こと

学校からの問合せが多数あった

コロナ禍でみえたこと

対面での関わりが減ったことで、関係が希薄になってしまっているのが課題。オンラインで顔を合わせる頻度を増やすことはもちろん、コミュニケーションツール（SlackやKintoneなど）を活用して関係の継続、仲間と出会うような**コミュニティ化を進める必要がある**。オンラインだと「点」の関わりで終わることが容易なので、「線」の関わり・学びの継続・成長実感・仲間との出会いが今後より力を入れるべき点。

わたしたちの工夫

ユーザーに向けた情報発信を増やした。学生自身の活動や思考が止まらないように、**情報発信と機会提供の頻度が落ちないように工夫**した。人との出会いや繋がりが減ってしまう学生が多いので、多様な人とコミュニケーションを図れたり、アウトプットする場を多く提供している。また、キャリアに対して前向きな考え方を伝え、能動的なモチベーションを引き出すこと。社会情勢はもちろんメディアを通して、どうしても「漠然とした不安」を感じている学生が多いので、今の状況をバネに前向きな行動変容を促すことを心がけている。

オンラインコミュニケーションのポイントは？

- ワークショップなど**顔の見えるやりとりを基軸**にコミュニケーションツールを活用。
- 運営側の顔をしっかり見せることで**安心安全に参加できる雰囲気作り**に注力。

<https://en-hec.or.jp/eccl.html>

こどもまちゼミお仕事体験わくわくワーク

NPO法人キャリア教育研究所ドリームゲート

市内の他校異年齢の児童でチームとなり、自分のまちの企業店舗で職場体験・取材をして魅力を伝えるポスターを作成。他の児童や保護者など**大人にプレゼン**する。実際に見て聞いて体験した人しか分からないことを教えることがミッション。事前研修ではなぜこれをやるのか？キャリア教育の重要性を伝え、マナーや挨拶研修を。ポスターセッションではお礼状の宛名書きを含め、気持ちを伝えることもキャリア教育に。インプット（体験・取材）から、アウトプット（ポスター制作・発表）まで**やり切ることで自信と達成感**が育まれる。

受賞して
よかった
こと

企業としての認知度が上がった
関わる外部機関が増えた

コロナ禍でみえたこと

開催を楽しみにしてくださっている児童や保護者がいると聞き、どうしたら良いかギリギリまで迷った。結果、オンラインでの開催と、隣の市ではリアルでの開催も。今年は制限が多かったせいか、こうした体験の場が少なかったようだ。検温や換気、マスク等気を付けたが、体験でも発表でも**表情が見えない**のは対人の醍醐味が薄れ、もったいないと感じた。学校現場も職場体験や地域探訪、職業人インタビューなど中止が相次ぎ、祭典等イベントもなくなり、生徒のアンケートでも**地域への関わりに関する思いの項目が低下傾向**にあった。

わたしたちの工夫

オンライン開催では、ドッグサロンの社長さんからの「水泳帽にスマホを縫い付けて被るから、バーチャルトリマー体験してもらおう」というアイデアを実現させた。テレビの番組制作の経験を思い出し、視聴者として楽しんでもらえるよう、**台本と絵コンテ**を準備。情報番組のように**カメラが入っていき、目線カメラに切り替わる構成**にした。事前にスタッフが各所に行きリハーサルを行い、カメラの向きやインタビューの場所などを探った。私たちもZoomに詳しくなかったので、講師を招いて学び、接続もプロの方に検証いただいた。

<https://www.facebook.com/iwakuwaku/>

障がいのある子どもたちに向けた 特別支援学校等へのキャリア教育支援活動

シャープ株式会社／シャープ特選株式会社

障がいのある方の職業観や勤労観を育み、**自立支援につながるきっかけづくり**として、3コースを用意。

- ①職場見学（来社型）コース：障がいのある社員が働く職場見学と座学を通じて、働くことの大切さを伝える。
- ②職場体験実習（来社型）コース：障がいのある社員と共に就労体験と座学を通じて、働くことの大切さを伝える。
- ③出前授業（学校訪問型）コース：障がいのある社員が講師として訪問し、座学とグループワークを通じて、働くことの大切さを伝える。

受賞して
よかった
こと

社内での理解者が増えた
企業としての認知度が上がった
学校からの問合せがあった

コロナ禍でみえたこと

これまで来社型の職場見学や職場体験実習に参加されていた支援学校の中には、見送るところもあった。聴覚支援学校への出前授業は、コロナ禍の影響で訪問型を希望する学校が減っている。オンライン出前授業を導入して対応を進めているが、講師社員との**直接的なコミュニケーション（対面）を希望する学校もある**ため、課題に感じている。オンライン回線が不安定であったり、弊社の提供するWeb会議システムを使用できない学校があったりした。

わたしたちの工夫

職場見学や職場体験実習は1回あたりの人数を制限。オンライン出前授業を開始したことで、これまで対象としてこなかった支援学校にも職業観や将来を考える機会を提供することができた。回線が不安定になることも想定し、**授業部分は動画配信**に。視聴後の**質疑応答のみ双方向通信**にしたが、緊張しながらもオンライン授業の経験を楽しんでいる様子が見られた。**障がいの程度等によって画一的な授業実施が難しい**ため、先生方で事前に動画を確認の上、ワークシートを加工できるようにカリキュラムや事前資料を作成した。文字保証などの更なる改善は必要。

https://corporate.jp.sharp/eco/social/social_contribution/#anc02

コロナ影響下でも、子どもたちが実社会の課題に触れ、仕事体験を通じて**答えのない問いへの挑戦**をし、大人と交流することで「夢を描き、将来について前向きに考える力」「困難を乗り越えて前へと進む力」を育みたいと考えた。そこで、映像教材やオンラインを活用した**リモート職場体験**を、企業や教員と協働開発。事前学習で自己分析や目標設定をした後、ポップコーン会社の社員として「CM製作」の仕事体験に取り組む内容で、代表チームのプレゼン時にはリアルタイムで社員さんからのフィードバックをもらえるようにした。

受賞して
よかった
こと

社内での認知度が上がった
社内で評価された
社内での理解者が増えた
企業としての認知度が上がった
教育委員会など行政機関からの
問合せがあった

コロナ禍でみえたこと

リアルな交流に力を入れてきた分、密を避けながら実施できる形や時期の検討が難しかった。

わたしたちの工夫

「リモート職場体験」の開発・実施に踏み切った。実践時期は随時確認しながら、必要な時はすぐ変更できる待機状態を作った。

具体的な工夫って？

- ワークシートや指導案等を事前に配布し、**学校がスケジュールに組み込みやすいように**。
- ゲーム感覚で実施できるなど、興味関心を引きやすい授業内容に。
- 直接訪問せず、学校のタイミングで活用できる**動画を配布**。
- 動画は**クイズやプチワークや、働く人が語る具体的なエピソード**をより多く。
- 企業の制服や資料など**物品の貸し出し**も。
- オンラインでも**双方向性を大事に**！生徒のプレゼンに加えて生徒と社員の交流・質疑応答も。
- リアルかオンラインか、**展開パターンを複数設けて、学校の環境に合わせて臨機応変に**。

<https://jae.or.jp>

講師によるテーマや課題の確認の後、教員主導で行う個人ワークとグループワーク、全体共有と、講師からの考察・解説の**コラボレーション授業**となっている。

受賞して
よかった
こと

社内での認知度が上がった／
社内での理解者が増えた／
社内で協力者や協力希望者が増えた／
企業としての認知度が上がった／
学校からの問合せがあった／
教育委員会など行政機関からの問合せがあった／
実施希望が増えた

コロナ禍でみえたこと

リモートで授業をする際、生徒さん達のグループディスカッションの様子を見学させて頂くことに限界があると感じた。先生又は学校に訪問した社員から**教室の様子を配信**していただき、**双方向のコミュニケーション**が取れるように準備した。

わたしたちの工夫

1人1台iPadを導入している学校がある一方で、これからという学校もあり、実施校との事前打合せで確認する事項を増やすことを考えている。具体的には、授業当日の通信不具合のリスクを鑑み、教員と講師の**役割やワークの進め方、時間配分について、詳細に確認する必要がある**と感じた。また、授業を実施する教室で事前に、**映像の動作や音声確認**を行い、**授業で使用する端末を確認**すること（講師側の端末で実施できない学校様があるため）も重要であると感じた。

<http://www.career-program.ne.jp/dspharma/kagakugijyutu.html>

身近な食業人を事例に育むキャリア探究 『PROFESSIONs授業』

株式会社辻料理教育研究所

“食の専門学科向け”に加え、“普通科・総合学科向け”の教材をリリース。どんな先生でも授業を進められるように授業のフォロー動画をリリース。授業実施ができる形態に応じた授業申請ができるオンラインフォームのリリース。“5分でわかるキャリア授業”をWeb上で公開することで、どんな高校の先生でも教材の有用性を理解でき、授業の要請から、実施までスムーズにできるようにプログラムをリニューアル。職業の3要素を動画上で分かりやすく説明。

受賞して
よかった
こと

社内での認知度が上がった
社内での理解者が増えた
学校からの問合せがあった
実施希望が増えた

コロナ禍でみえたこと

教育効果が高いと思われる「グループワーク」の様子が感じられない、または実施できない課題。デバイスが完全に生徒ひとり一台に行き渡らないと難しく思われる。カメラやマイクを複数準備できない授業の場合、現地の先生方の協力をいただかないと、詳しい反応や表情が分からない部分に不安を感じる。

オンラインコンテンツの工夫って？

- 生徒の興味を保てるようアニメーションを活用
- ポイントをしっかりおさえて理路整然と
- 先生の操作性も大事！
パートごとに再生できる動画に。

教育効果が高いと
思われる「グルー
プワーク」の様子

わたしたちの工夫

オンライン実施できるようにコンテンツを動画化。授業単発実施だけでなく、家庭で出来る予習や復習のコンテンツの作成。誰が授業指導をしても、意図した内容そのもので生徒に伝えられる環境ができた。学校からの要望も増えている。“食の仕事の幅広さを知って視野が広がった”など、生徒からの声とともに、“教員だけでも十分に授業が出来る”といった声もいただくことができた（教員向けの指導書も提供）。出前授業の際も動画ツールの活用はすべきと感じた一方で、リアル講師が他の価値を提供する必要性（熱量含む）があることにも改めて気づいた。

オンライン実施できる
ようにコンテンツを

<https://professions-of.jp/material/>

マイチャレンジインターンシップ

特定非営利活動法人アスクネット

マイチャレンジインターンシップは、高校生であればどの生徒でも参加できるインターンシップ。授業や部活動、塾など一生懸命取り組んでいる生徒でも参加できるように夏休みの3日間+2日間（事前事後学習）で実施している。2020年度は、受入先企業数も実地での活動も減らすことに。そのため、企業から課題をもらい、オンラインでの報告（発表）を行う形式とした。参加した生徒が得られたものは、オフラインとは違ったかもしれないが、団体のミッションである「出会いと挑戦」の機会をゼロにすることなく、新たな形で提供することはできた。

受賞して
よかった
こと

学校からの問合せがあった
教育委員会など行政機関からの
問合せがあった
実施希望が増えた

コロナ禍でみえたこと

受賞プログラム以外の大半もオンラインでの実施に変更したが、困難、課題というよりもただ工数や費用などのコストは上がった。オンライン化の検討・実施に関して、スタッフの対応は非常に迅速に行えたが、学校や児童・生徒のオンライン化、つまり、変更に伴う環境になれるまでのサポートは大変だった。事前の接続確認のため先方まで訪問することや、当日のサポートはオフライン以上だった。

わたしたちの工夫

オンラインの整備とオンライン化に加え、生活環境に左右される学びの停滞といった社会課題に対応するため、オンラインユースセンターの構築を進めている。機能としては、以下の3つを持たせる。

- ①学習支援機能：学習の遅れを取り戻す場自力で学習を進めることが難しい生徒のための学習の場
- ②職業講話やリモート会社見学：外部人材による講座やPBL型学習や探究学習
- ③交流・相談機能：生徒同士や関わる大人達との交流の場であり、サードプレイス

オンラインの整備とオン
ライン化に加え、生活環

<https://asknet-mychallenge.jp/>

掃除の基礎知識の習得を目標とした2部構成からなる体験型学習。STEP1では、ホコリ汚れの正体を知り、掃除の大切さを学ぶ。STEP2では、窓・廊下・トイレ掃除の正しい手順とその意義・効果を学ぶ。

【STEP1】掃除をする意義と掃除用具の使い方（45分）

【STEP2】窓・廊下の掃除の仕方（45分）

トイレの掃除の仕方（45分）

受賞して
よかった
こと

社内での認知度が上がった／社内で評価された／社内での理解者が増えた／社内での協力者や協力希望者が増えた／企業としての認知度が上がった／メディアに取り上げられた／学校からの問合せがあった／教育委員会など行政機関からの問合せがあった／実施希望が増えた

コロナ禍でみえたこと

弊社の出前授業は、雑巾を子どもたちが実際に絞るなどの体験学習であり、この「体験」が先生方から望まれており、かつ評価をいただいていた部分。そのため、**これまで実施してきた出前授業を、オンラインで実施することは困難**であると判断した。そこで「学校掃除」ではなく、「家庭掃除」に変更し、**新たにWeb教材として制作**している。

※新たにWeb授業も制作し（新カリキュラム）を制作。来年度より学校とオンラインでつないで実施する授業を展開予定。

わたしたちの工夫

教育現場の現状をいろいろなところから収集し、学校における要望、お困りごとに対し、**弊社のもっているノウハウをどのような形にするのがよいか**を考えている。さらに、コロナ禍において、従来のほうき・ちりとり・ぞうきんを使用した学校掃除方法でよいのか、児童が実施する**これからの「学校掃除方法」を提案**していきたい。そのことが子どもたちの「衛生意識」というものをつけていくことに繋がる、**新たな学びを提供**できるのではと考えている。

<https://www.duskin.co.jp/torikumi/gakko/>

愛知県の専門高校の機械・電気・電子・情報系学科に学ぶ生徒を対象に「にしんハイスchool・ものづくりコンテスト」を開催。高校生が地元企業などと連携し、**学校で学んだ技術を活かして**、テーマに沿った**製品開発**を行うことで「ものづくり人財」を育成する。

※キャリア教育アワード受賞時は専門高校全体を対象とした「愛知県ハイスchool・起業家コンテスト」だったが、その後、工業系の高校を対象を絞り「ものづくり」に特化。

受賞して
よかった
こと

社内での認知度が上がった／社内での理解者が増えた／企業としての認知度が上がった／メディアに取り上げられた／実施希望が増えた／関わる外部機関が増えた

コロナ禍でみえたこと

授業や部活の時間削減により、全体的に作業が遅れた。各校の参加者や審査員が一同に集まる**従来の方法での審査発表会**は行えなかった。

わたしたちの工夫

審査会を録画したプレゼンテーションで行ったこと。**コロナ対応をテーマに入れることで**、参加校の問題意識を高めたこと。コロナの拡大時期を出来るだけ避けられるように、各校への訪問時期をずらした。

ものづくりのテーマに「コロナ対応」を入れることで起きたこととは？

今年度は、卓球のピンポン玉の紫外線殺菌機を製作した高校が優勝した。**コロナ禍だからこそその着眼点**だった。今後の「withコロナ」を考えたり、社会に出てからのWeb活用など、**相手が見えない状況で自分たちの伝えたいことを伝える構成**を考える意味でも、今回は大きな気づきと学びを得られたと考えられる。この取組を通して、どのような状況であっても、「ものづくり」への興味を抱き、工業高校で学んだ技術・知識を活かし、**自ら問題を発見・解決できる力**を身につけてほしい。

**アンケートに回答のあった
企業・団体の
取組・工夫をご紹介します！
(五十音順)**

* アンケート回答時に
「掲載しても良い」と回答した企業・団体のみ

仕事体験・デザイナー体験 学校訪問授業「SHOP」

※受賞時の取組名称は「SHOP DESIGN」

株式会社アトリエテンマ

制限時間の中「コンセプト提案」「模型制作」「プレゼン」の3工程を3日間で行う。チームで協力しながら各自が役割に責任を持ち、本気で取り組むことで、**生み出すこと、やるべきこと、厳しさ、ルール、チームワークの大切さ**等に気づく。プロの仕事の楽しさ・大変さがリアルに伝わることで「本物」を知る楽しさや驚きが興味へとつながり、働くことの意義ややりがいを考える機会となる。

コロナ禍でみえたこと

プロとして活躍しているいろんな業界のデザイナー講師からの、仕事に関する**リアルな話を伝えられない**ことは非常に残念。生徒達の授業環境に多少の差がでてしまったこと。（分散した教室によっては、便利な教室とそうでない教室があったなど）

わたしたちの工夫

学校側のコロナ予防対策に従い、要望のとおりに変更し、対応した。

岩村田商店街が実施する 支援の必要な子どもたちのための自立支援プログラム

岩村田本町商店街振興組合

基礎学力支援のための教育プログラム、社会へ出ることを前提としたビジネスマナー・パソコン基礎講座などのスキル習得講座。地域のイベントの運営に参加しながら自ら企画した「ショップ」を出店することを通して「**商売の仕組み」「コミュニケーションの大切さ」などを実践を通して学ぶ**講座を開催。また、地域の公園を「定期的」に地域の区民や老人会の方々と一緒になって清掃活動を継続的に実施。

受賞して
よかった
こと

企業としての認知度が上がった／メディアに取り上げられた／教育委員会など行政機関からの問合せがあった／関わる外部機関が増えた

コロナ禍でみえたこと

やはり、外部とのコンタクトを取りづらくなっている点で、高校生に**実務教育支援ができない**。また、商店街でのイベントへの参加プログラムが実施できないため、**屋内での活動に切りかえざるを得ない**状況が課題。

チャレンジカップ

小学生～高校生が対象の「**自分で決めた目標に挑戦する**」大会。子どもたちは、勉強、スポーツ、地域貢献活動など、それぞれが挑戦したい分野で参加。半年後の目標を決めることが参加の条件。目標に対して、どれだけ本気で挑戦し、成長できたかを全国の教育機関の専門家や有識者達が審査し、表彰。子どもたちがアクティブラーナー（能動的学修者）として素晴らしい成長を遂げている。

株式会社FCEエデュケーション

受賞して
よかった
こと

社内での認知度が上がった／社内で評価された／社内での理解者が増えた／社内で協力者や協力希望者が増えた／企業としての認知度が上がった／メディアに取り上げられた／学校からの問合せがあった／実施希望が増えた／関わる外部機関が増えた

コロナ禍でみえたこと

チャレンジャーの子どもたちにとって、大きな会場で発表することは、貴重な経験であり、大きな自信・自己肯定感につながるものと考えているが、今年度は開催できなかった。新たな生活様式において、これまでリアルな場で開催していた効果と同等のものを**Webなど代替手法で確立する必要性**を感じている。

わたしたちの工夫

個人もしくはチームで取組、期間後、サポーターとなっていた学校や塾の先生と活動をふりかえり、書面にまとめて提出する形式に。書類提出が目的となってしまうと成長効果が少なくなってしまうので、提出期間を延長してふりかえりは十分に行って頂くようにした。地域審査はリアルな場で議論をしていたが、**全てWeb会議に切り替えた**。子どもたちの成長機会として発表の場を設けるために、動画撮影いただき、ホームページへ掲載した。

<https://www.challenge-cup.net/>

地域の中小企業が持つ教育力を子どもたちへ ～労働と職場の持つ教育力は子どもたち・企業・経営者を変える～

愛媛県中小企業家同友会

小中学校を対象に、中小企業経営者もしくは社員の方のキャリア教育講師の出前授業を行う。会社の事業、仕事の紹介とともに**講師のこれまでの生き方、働き方など生き様も含めて**お話しいただいている。仕事の道具や商品など実際にものに触れたり動画などで視覚的に訴える内容など、可能な限り体験的な講座となるように工夫。

受賞して
よかった
こと

社内での認知度が上がった
社内で協力者や協力希望者が増えた
企業としての認知度が上がった

コロナ禍でみえたこと

学校に出向いての授業を想定しているため、感染状況によってはやむを得ず中止やスタッフ数を限定せざるを得ないケースが発生した。お互いの機会損失を避けるため、**オンラインを含む非接触の体験型プログラムについて検討の必要性**を感じている。

わたしたちの工夫

新たに開発した授業教材『**未来デザインゲーム**』の活用による**キャリア教育の質向上**を図った。今後、さらに積極的かつ戦略的に提案していきたい。

「学校訪問」で私学理解を深め、「教育実習前講座」では社会人マナーと研修全体を通じた授業研修がスタート。「夏期集中講座」では都内私立高校の教室を借りて実際の黒板を使った集中的な授業研修を行うことに加え、受講生グループを活かしたコミュニケーション研修、**教員としての職業理解、模擬面接など採用対策等**も行う。この期間においては、過去の研修修了生が、先輩教員として研修に参加し、様々な悩みに対するアドバイスが行われる場にもなっている。

コロナ禍でみえたこと

対面での実施ができない中で、**協働の機会をいかに実現するか**が課題。

わたしたちの工夫

プログラムのオンライン化。オンライン会議システム内でのグループ活動の確保時間と距離の制約が軽減したことによる**プログラムの頻度、時間帯等**の見直し。

<https://www.e-staff.jp/>

技能系・理科系キャリアの「先輩」であるボランティア講師を80名程度擁し、**ユニークな授業を実施する体制**を備えている。実験メニュー、日時、学年等の希望を学校から一斉に受け付け、希望に沿った講師とのマッチングを行い、講師を希望校へ派遣。学校の状況を熟知した小学校・中学校の現職教員が1年間当所の事業に携わり、専任コーディネーターを務め、各校のニーズを丁寧に聞き取り、マッチングに反映させている。

受賞して
よかった
こと

社内での認知度が上がった／社内で評価された／社内での理解者が増えた／ボランティアの講師に大変喜ばれ、本プログラムに関わる人々のモチベーション向上に貢献できた

コロナ禍でみえたこと

ボランティアの講師は比較的高齢の方が多くもあり、実施にあたっては**感染防止対策を徹底**することが非常に重要である。一方で学校は多くの子どもたちが集まる場であり**密を避けることが難しい場面もある**。

わたしたちの工夫

講師への**マスクの配布や、対応策の申し合わせ**、学校側への感染防止対策徹底のお願いなど。また、世の中の感染状況によっては実施日の再調整や講師の変更もあり得ることを伝えて、予め了解をいただいた。

<https://www.kistec.jp/rikaston/demae/>

市内の小学校・中学校を中心に「かわさきマイスター」が出張し、**ものづくりの体験授業や自身の職業人生についての講演の実施**、あるいは「かわさきマイスター」が働く現場に生徒を受け入れて職業体験を行う。

受賞して
よかった
こと

学校からの問合せがあった

コロナ禍でみえたこと

「かわさきマイスター」の技術・技能を子どもたちに肌で感じてもらうには直接近くで見て、触れてもらうのが効果的と考えており、オンライン等の手法での実施が難しいことから、**感染防止対策と体験授業の両立が難しい**。

わたしたちの工夫

川崎市教育委員会策定している「新型コロナウイルス感染症に対応した学校再開ガイドライン」に沿って実施しており、また「かわさきマイスター」もマスクの着用やアルコール消毒などの**基本的な対策事項を徹底**しながら行っている。

<https://www.city.kawasaki.jp/jigyoku/category/79-9-1-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

学校で職業を調べて職業人への質問を考える等の「事前授業」を行い、子どもたちが期待感をもって夢授業に臨むようにする。夢授業では、職業人が学校体育館に点在してブースを作り、約2時間の間に、**6人の職業人が、15分ごと子どもたちの質問を受ける形で対話**をしていく。職種概要や職業人の職業観などについて語っている。

受賞して
よかった
こと

社内での認知度が上がった／社内で評価された／社内での理解者が増えた／社内での協力者や協力希望者が増えた／企業としての認知度が上がった／メディアに取り上げられた／関わる外部機関が増えた

コロナ禍でみえたこと

緊急事態宣言解除後の秋以降に集中し、**日程調整が大変**だった。オンラインを提案する学校も多々あったが、不慣れな学校も多く、実施できた学校の方が少なかった。コロナ対策の内容が学校によって温度差があった。**体育館のみでなく、教室を使うなど会場を分散**したため、進行が困難であった。マスク着用など**表情を読み取るのが困難**であった。

わたしたちの工夫

厚生労働省が提示している感染症対策を実施し、**関わる全ての人の安全安心な環境を整えた**。行政職員とも安全安心な環境であることを共有し、継続に努めた。開催できない学校向けに、**職業人の動画を撮影して提供**した。Zoomの打合せを多用した。

<https://yumejyugyo.jp/>

09 キリン・スクール・チャレンジ

キリン株式会社（現：キリンホールディングス株式会社）

NGOとキリンの講演。そのQ&Aで理解を深めた後、2～3名で作ったチームごとに、中高生が同世代に伝えたい内容を写真やスケッチブックリレーの動画にして表現し、ツイッターで発信。3週間程度の間にリツイートされた数を競い、一番多く獲得したチームは、年に一度の表彰式で表彰する。

受賞して
よかった
こと

社内での認知度が上がった
社内でも評価された
社内での理解者が増えた
社内で協力者や協力希望者が増えた
企業としての認知度が上がった

コロナ禍でみえたこと

集合したリアルでの実施は困難。オンラインの場合、**チームビルディングや共同での作業に大きな制限**が掛かる。まる1日オンラインで参加するのは集中力が保てないために複数日に分けて実施しているが、参加者だけではなく事務局側にも負担が大きい。

わたしたちの工夫

オンラインで実施可能なプログラムに内容を変更して行っているが、まだまだノウハウが蓄積できておらず課題は多い。

<https://www.kirin.co.jp/csv/eco/schoolchallenge/>

10 「めっき教室」

清川メッキ工業株式会社

「めっき教室」として、ものづくりの仕事とは「**大切な人のために思い、ものを作る**」をメッキにて体感。

受賞して
よかった
こと

企業としての認知度が上がった／メディアに取り上げられた／学校からの問合せがあった／教育委員会など行政機関からの問合せがあった／実施希望が増えた／関わる外部機関が増えた

コロナ禍でみえたこと

対面でないと、**キャリア教育本来のリアル感が伝わりにくい**。

わたしたちの工夫

オンラインであっても**現物を事前に送って、リアルに見てもらう**。コロナ禍では、触れるのも難しい。

<https://www.kiyokawa.co.jp/>

11 ぎふマーブルタウン

非営利型一般社団法人Nancy

失敗と挑戦が許容される仮想都市の運営・発展を通して子どもが成長する。働いて給料を稼ぎ税金を払ったり、集まった税金の使い道を決める国王を選挙で選んだり、手作りしたモノやサービスでお店を出し起業することができる。「**教えない**」教育を大事にし、大人から子どもへの口出し手出しはNGに。述べ5107名が参加し、当日ボランティアや視察等を含めるとイベント参加者は1000名ほどにのぼる。

受賞して
よかった
こと

企業としての認知度が上がった
メディアに取り上げられた

コロナ禍でみえたこと

この取組は架空通貨の授受や選挙、店頭取引、仕事など子ども間のやり取りや人の**密集が多く発生する取組のため、コロナ禍における開催が難しく**、また既存システムを利用したオンラインでの実施も難しいため、例年は年3回開催しているところ2020年は1度も開催できなかった。

わたしたちの工夫

コロナ禍が明けたときのためのマネタイズ方法を固めたり、ぎふマーブルタウンと同時に実施していた保護者向けコンテンツのみを切り出してオンライン開催したり、マンスリーサポーターの募集キャンペーンを実施し、**現在はオンライン版の開発を進行中**。

<https://marbletown.wixsite.com/gifu>

12 クマさんの環境教室

株式会社 熊谷組

1「街のデザイナー授業」（対象：高校生）、2「実験を通じた環境学習」（対象：小学校4年生）、3「マイバッグづくり」（対象：小学校1年生・2年生）、4「ゴミゼロ運動」（対象：小学校4年生）を毎年継続して実施していたが、2020年度は、コロナ禍により「マイバッグづくり」（小学校2年生）と「住みやすい私たちの未来の街」をテーマに**SDGsの視点で水彩画を描いて頂く活動（小学校4年生）を実施**。

受賞して
よかった
こと

社内での認知度が上がった／社内でも評価された／社内での理解者が増えた／社内で協力者や協力希望者が増えた／企業としての認知度が上がった／学校からの問合せがあった／教育委員会など行政機関からの問合せがあった／実施希望が増えた

コロナ禍でみえたこと

対面式の学習によらないで実施できる**有効なプログラムの開発が課題**と認識。

わたしたちの工夫

弊社社員との**対面時間を最小限**にし、できるだけ学校の授業の中で実施していただいた。

<http://www.kumagaigumi.co.jp/csr/>

自社の化学技術等を活用した化学実験クラブ 「わくわくケミカルクラブ」の開催

株式会社ケミカル山本

6月の開校式から翌年3月の修了式まで、**11回のクラブを開催**。夏休みに工場見学を1回実施。「ケミカルマジック」で気分を盛り上げ、その後は「実験タイム」。テーマは「酸性とアルカリ性」「ビタミンCを調べよう」「熱くなったり冷たくなったり」「水の電気分解」「マイカイロを作ろう」「色々な電池を作ろう」「二酸化炭素の製法と性質」等。

受賞して
よかった
こと

社内で協力者や協力希望者が増えた／企業としての認知度が上がった／メディアに取り上げられた／見学多数

<http://www.chemical-y.co.jp>

豊富な国際経験に基づいた大学・大学院講座

特定非営利活動法人国際社会貢献センター

これまでどおり、大学・大学院側との十分な事前打合せに沿ったプログラムを提供している。

受賞して
よかった
こと

学校からの問合せがあった／教育委員会など行政機関からの問合せがあった／実施希望が増えた／関わる外部機関が増えた

コロナ禍でみえたこと

オンライン方式では、学生との双方向の授業は難しく、フォローに一層の精力を注いでいる。

わたしたちの工夫

オンライン授業という新たな方法でいかに対面授業と同質のプログラムを提供していくかに腐心している。

www.abic.or.jp

「鉄道と情報ネットワークの秘密を探れ」 「環境にやさしい鉄道の秘密を探れ」

生活を支える鉄道の働きについて考える「社会科教育」、鉄道に携わる人々の努力や工夫について考える「キャリア教育」、循環型社会を支える鉄道の働きについて考える「環境教育」プログラムとなっており、各地域の社員が直接学校に出向いて実施。

東日本旅客鉄道株式会社

受賞して
よかった
こと

企業としての認知度が上がった／学校からの問合せがあった／教育委員会など行政機関からの問合せがあった／実施希望が増えた

コロナ禍でみえたこと

体験型の内容やグループワーク等対面を前提としたカリキュラムであることから、オンライン対応の必要性を感じた。

わたしたちの工夫

学校の学習カリキュラムに組み込んでいただきやすいよう、実施する時期を調整するなど工夫した。

<https://www.jreast.co.jp/eco/education/>

小学生向けキャリア教育プログラムの作成 キャリア教育出張授業の実施

45分の授業を2コマ。働く大人の話を聞き、会社は多くの仕事と様々な人でできていること、自分の特長をどのように生かして仕事をしているのかについて事例を聞く。大人が仕事を選んだ過程を聞き、1つの特長を生かせる仕事には、たくさんの種類があること、自分の特長からつながるたくさんの仕事から今の仕事を選んだ事例を聞く。そこから、自分が仕事を選ぶイメージを膨らませて考える。

NPO法人スマイル・プラネット

受賞して
よかった
こと

社内での認知度が上がった／社内で評価された／社内での理解者が増えた／社内で協力者や協力希望者が増えた／学校からの問合せがあった

コロナ禍でみえたこと

グループ学習を前提としていたため、気を遣って実施することとなった。

わたしたちの工夫

出張授業実施校と事前に連絡を取り合い、対策を確認して実施するようにした。

https://smileplanet.net/career_portal/lessons.html

17 せとがまるっとセンセイになるとき

中学生は職場体験プログラムを中心とし、「マナー講座」「職業講座」「コミュニケーション講座」を実施。また、小学校高学年～中学生には体験型ワークショップ（貿易ゲーム、カイゼンセミナーなど）や、**年間を通して学習するプロジェクト学習**（米作り、陶器会社を設立し、企画・製造販売を行うなど）を実施。

瀬戸キャリア教育推進協議会

受賞して
よかった
こと

社内での認知度が上がった

コロナ禍でみえたこと

本来であれば**体験できること（調理実習など）が出来なくなった**。小学校では、体験型ワークショップの講座が多いため、今年度は実施できていない状況。

わたしたちの工夫

特にないが、**学校との連絡は常にとっていた**。

<http://setocareer.jp>

18 感動体験型ジュニアインターンシップ

有限会社せれくと

受賞時と変わらず、**社員が自分たちの信念を説明、体現し、その同じ体験をリアルに学生にも体験してもらう**。

受賞して
よかった
こと

企業としての認知度が上がった／メディアに取り上げられた／学校からの問合せがあった／教育委員会など行政機関からの問合せがあった／関わる外部機関が増えた

コロナ禍でみえたこと

学校（担当教員）によって、社会情勢に大きな変化がある場合に**リテラシーと視野に大きく差がある**（例：自分の学校のことだけを見ている人、地域全体を見ている人、集めている情報の差など）

わたしたちの工夫

今まで以上に、リスク面で徹底的に**私達の考えていることを学校側と事前に打ち合わせる**こと。

<https://www.select-net.jp/is>

19 ライフプランニング授業

あるモデル家族のライフプランについて、受講者同士で話し合い、決定。子どもの進学プラン、住宅プラン、毎月の支出、自動車、旅行など、決定したプランを当社独自のライフプランニング・シミュレーションソフトに入力し、収入や支出の変化などをグラフで示す。収支バランスが崩れた場合は、改善策を考え、効果も検証。**夢を叶えるための考え方や方法**など、大切なポイントをお伝え。

ソニー生命保険株式会社

受賞して
よかった
こと

社内での認知度が上がった／社内で評価された／社内での理解者が増えた／社内で協力者や協力希望者が増えた／企業としての認知度が上がった／メディアに取り上げられた／学校からの問合せがあった／教育委員会など行政機関からの問合せがあった／実施希望が増えた

コロナ禍でみえたこと

オンライン環境は、学校ごとで違うため、**トラブル発生時の対応が困難**。

わたしたちの工夫

ソーシャルディスタンスの確保等、感染予防対策。

<https://www.sonylife.co.jp/volunteer/lp/>

20 練馬区「アニメと教育の連携事業」

練馬区の特徴であるアニメを活用し、**学校・学年のねらいや**

株式会社ソシオエンジン・アソシエイツ

既存の活動にあわせた授業を行う支援・体制づくりを行う。具体的な授業としては、アニメの制作体験、アニメに関する職業についての講話など。学校のねらいにあわせ、総合的な学習の時間のほか、社会・図画工作・クラブ活動で導入されている。夏休みには教員向けの体験型研修を行い、教材研究の場の提供など、コーディネーターとして各種サポートを行っている。

コロナ禍でみえたこと

感染症対策をふまえた授業の実施形態に焦点があたり、**どのような学習効果をねらうのかの話合いに意識が向きにくくなった**。諦めざるをえない活動もあった。また、学校内であってもオンライン（Zoom）対応が必要になり、機材の手配や設営など、経験がない中での対応となった。

わたしたちの工夫

先生方と一緒にトライ＆エラーをしてみることで、**できることを一緒にやってみましょう、というスタンスを大事にした**。トラブルもあったが、やってみて改善することができた。**通常よりもきめ細かなコミュニケーションが必要になると感じた**。

21 踊育（だんいく）-キャリア教育プログラム-

ダンス、地域の祭りや踊り、**伝統芸能について学習し、理解した祭りや伝統芸能、地域のことを表現するために踊りの保存会など地域の皆さんの協力を得ながら、子どもたちがグループワークで協力し合い、地域の魅力が沢山詰まった所作の意味を崩すことなくポーズや振り付けを考案し「地域ダンス」を創作。**そして、創作したダンスを運動会などで披露し、その後、ふりかえりの授業を実施。

ダイドードリンコ株式会社

受賞して
よかった
こと

社内で評価された／社内での理解者が
増えた／学校からの問合せがあった／
教育委員会など行政機関からの問合せ
があった／実施希望が増えた

コロナ禍でみえたこと

当社社員が**現地へ赴くことができなかった**ため、リアルな反応や表情をうかがうことが困難であった。

わたしたちの工夫

事前に確認。Zoomを活用。「**学校対ダンスインストラクター」「個別家庭対ダンスインストラクター」の両パターンを実施。**体育館ではなく**運動場でのダンス指導。**グループディスカッションでは**児童間の距離を広げたうえで円になり、発言をする時は挙手し、全員が注目してから発言することで、全員の意見を聞き**洩らさずに話し合いを進める工夫をした。

感染症対策ガイドラインを学校とインストラクター、踊りの指導者へ共有し感染症対策について

<https://www.dydo.co.jp/sustainability/activity/dan-iku-kyouiku.html>

22 元経営者によるキャリア教育

1. 体験とアドバイスの授業、2. パネルディスカッション、
3. ワークショップ。内容は「探究学習」「SDGs」など**学校側に要求に応じてほぼオーダーメイド**で作成。

受賞して
よかった
こと

社内での認知度が上がった
企業としての認知度が上がった
学校からの問合せがあった

一般社団法人ディレクトフォース

コロナ禍でみえたこと

学校側の設備が不十分、**事前調整が何度も必要。**

わたしたちの工夫

非接触授業方法の開発。

http://www.directforce.org/DF2013/02_DF_katsudo/kyouiku/jugyo/kyoiku_jugyo-topics-2014.html

23 未来の“経営者”たちに地域ビジネスのすすめ ～夢をカタチにする生き方・働き方～

「働くことへの興味・関心を高め夢を叶えるための準備」を目的に、小・中学生向け出前授業「仕事セミナー」を実施。今から「何を考えて考動する（自ら考え動くこと）べきか」考えるよう投げかけている。大学生等に対しては「仕事は与えられるものでなく、仕事は自らが創り出すもの」との観点で、ビジネスプランを作成し、プレゼンテーションする方法を指導。様々な経営者との交流を通し、**将来的には地元で創業する意識の醸成を図る。**

徳島県信用保証協会

受賞して
よかった
こと

メディアに取り上げられた
実施希望が増えた

コロナ禍でみえたこと

小中学校の教育現場では休校のしわ寄せで**カリキュラムが変更**となり、キャリア教育の実施が延期となったことがあった。

わたしたちの工夫

実施校のニーズに合わせ**日程変更に対応**した。校外からの来訪を減らす趣旨で講師を2名→1名にした。

24 トウワイス・プラン『企業インターンワーク』

株式会社トウワイス・リサーチ・インスティテュート

日本を代表する企業のインターンとして、企業の課題に取り組むワーク。チームをつくり、インターン先企業を選んで、**その会社の一員として企業のリアルな課題解決に取り組む。**

受賞して
よかった
こと

企業としての認知度が上がった

コロナ禍でみえたこと

学校ICT環境によっては、グループワークや企業コーディネートなどが円滑に実施できない。

わたしたちの工夫

学校ごとのコロナ禍での対応の**状況を丁寧にヒアリング**し、かつ**ICT環境の確認**をし、置かれた環境下で最大限探究学習が成立するようにサポートをすること。

<https://twiceplan.jp/work/company-01/>

大学1・2年生が各企業の実施するインターンシップ型プログラムに参加する。学生が企業に足を運び、**経営者や従業員と接することで視野を広げ、卒業後の進路を考える際の参考**となることを期待するもの。

受賞して
よかった
こと

社内での認知度が上がった／社内で評価された／社内で理解者が増えた／社内協力者や協力希望者が増えた／実施希望が増えた

コロナ禍でみえたこと

これまで、学生にとって対面で経営者等との懇談や社内見学を体験することに価値があると考えていた。しかし、初導入した**オンラインプログラムでも学生はしっかりと企業研究ができ、企業と十分にコミュニケーション**できることが分かった。

わたしたちの工夫

参画企業には、学生の受入プログラムを**対面かオンラインか選択できるよう設定**した。今後、コロナ禍でも工夫して学生を受け入れた企業の好事例を発信していく。

<https://www.cci-job.net/contents/relation>

ボランティアプロフェッサー事業・講師派遣事業

公益社団法人 栃木県経済同友会

県内の高等教育機関で構成する「大学コンソーシアムとちぎ」と当会で**講師派遣事業に関する協定を締結**し、大学等から講師派遣要請を受け、講師を派遣することで、大学からの要望を把握し、目的を共有し実施している。また、中学・高等学校向けとして、生徒に自己の在り方、生き方を考えさせ、将来の社会参画の実現に向けて必要な能力や態度を育成することを目的に、約280人の会員（企業の経営者等）を、講師として派遣する事業を実施している。

受賞して
よかった
こと

社内での認知度が上がった
社内での理解者が増えた

コロナ禍でみえたこと

マスクを常用している中で、講師、受講者双方で講話時に**表情がわかりにくい**。講師がフェイスシールドを使用する等、工夫して対応した。このような時代だからこそ、**介護関係者、医療従事者**等、敬遠されがちな職業の素晴らしさを伝えていくことが大事ではないかと思う。企業での職業体験がセットでできれば、より効果が高まると思うが、すぐに実践することは難しいと感じる。

マスクを常用している中で、講師、受講者双方で講話時に

わたしたちの工夫

学校や学生・生徒の要望に応えられるように、**オンラインでも授業を行った**。講師派遣事業の活用促進に向けての**改善策を議論**し、会員講師を引き受けやすくなるように、周知方法の簡素化を図った。学校から、授業内容についての要望をよく聞き、要望に合わせた講師派遣事業を行った。さらに事業拡大のため、新規に会員への声掛けを行った。

www.douyuukai.jp

27 中学生ものづくり教育事業（講師派遣事業／企業見学事業／教材等支援事業）

富山県中学生ものづくり教育振興会

「講師派遣事業」ものづくり現場の最前線で活躍されている方に、実験を交えたものづくりに関する教育を実施する。「**企業見学事業**」生徒にものづくり現場を見学してもらうことで、驚きや発見を体感してもらう事業。「**教材等支援事業**」工夫してものづくりの楽しさ・面白さを育み、感性豊かな生徒を育成するため、創意工夫して授業に取り組む中学校に対し、理科・技術の授業で使用する教材の購入費を支援する事業。

受賞して
よかった
こと

社内での理解者が増えた／社内で協力者や協力希望者が増えた／企業としての認知度が上がった／学校からの問合せがあった／実施希望が増えた

コロナ禍でみえたこと

将来のものづくり人材を育む事業として実施しているため、企業の最先端のものづくり現場を見せること、実験や実演のあるものづくり出前授業を大事にしている。コロナ禍で、**生徒の受入れや出前授業を見合わせる企業があった**。また、先々が不透明な状況下で、振興会を退会する企業がいくつかあった。<https://www.facebook.com/富山県中学生ものづくり教育振興会-1868127646841779/>

将来のものづくり人材を育む

わたしたちの工夫

富山県中学生ものづくり教育振興会内で組織する運営委員会(企業/富山県教育委員会/富山県校長会で構成)の中で、**コロナ禍での各事業の運営方法を議論し、安全面に配慮した運営を実施**した。

28 主体的に生きる力を育む「キャリア教育・ドリームマップ授業」

一般社団法人ドリームマップ普及協会

夢とは“大人になったらどんな仕事につくか”だけではなく、どんな大人になりたいか、こうだったら最高、こうだったら幸せと思う自分の未来であることを知るところからスタート。自分を知る、夢を描く力、夢を伝えるというステップを体験する。その中で自己と他者を肯定し、未来を前向きに捉え、**主体的な行動を起こす一歩目を踏み出すこと**を1日6時限を使って取り組む。

受賞して
よかった
こと

学校からの問合せがあった
実施希望が増えた

コロナ禍でみえたこと

実践を担当するドリーム先生の確保が課題となるケースがあった。県外からの参加に制限があったり、本業の仕事の関係で活動に参加できないなど、**安心安全を確保しながら活動に参加してもらう人員の確保に苦労**があった。また、子どもたちとの距離感やマスク・フェイスシールドを着用したままのファシリテートには**工夫と力量が求められた**。

実践を担当するドリーム先生

わたしたちの工夫

ガイドラインを策定し、全国で考え方を共有した。極力学校側の要望に応えられ、かつ、参加するドリーム先生も含め、お互いが安心して実施できるように配慮した。また、学校と取り交わす実施確認書もコロナ禍特有の事項を記載し、**状況の変化にも臨機応変**に対応できるようにした。地域によっては、活動参加者に感染対策費を支給するなど負担の軽減に取り組んだ。

小学生・中学生向け人間力を身につけるキャリア教育プログラム 自分で自分を大切にするための授業

特定非営利活動法人 日本教育養成学会 NPOセルフディフェンスコミュニケーション開発

【家庭】との連携をとり、自己肯定感を高め自分を大切にし、夢＝「働く意欲」の芽生えにつなげていくことを目的とする。「自分の気持ちをきちんと伝えること」「相手が嫌なことを言わないこと」を例題を出して話し合い、立ち直る力(レジリエンス)を身につける。挨拶、笑顔の大切さなどビジネスマナー、コミュニケーションの大切さなどソーシャルスキルを考える。

受賞して
よかった
こと

メディアに取り上げられた
学校からの問合せがあった

コロナ禍でみえたこと

1学期の予定が2・3学期に変更。時間も90分間が40分間～70分間に変更。話し合いなどはなくし、声を出したりせず、座学中心のため、すぐ忘れてしまうのではないかと、不安。現場の先生たちも、**突然のことで余裕がなく、子どもたちもストレスを感じているよう**でバタバタしていた。

わたしたちの工夫

感染予防対策（具体的には：●児童同士が接近することがないように間隔を広く取り体育館を目一杯使って着席●実技は1人で行いペアで行う実技は省略●大きな声は出さない●話し合いも基本的に実施しない●講師も生徒もマスクを着用●休憩時間は2回取る●休憩時間以外も水分補給を可能にする●会場の換気に配慮●寒い時期も閉めたままにせずドアと窓を開け換気する●保護者見学がない場合は自宅で授業の内容を説明することを宿題にする）

●児童同士が接近することがないように間隔を広く取り体育館を目一杯使って着席●実技は1人で行いペアで行う実技は省略●大きな声は出さない●話し合いも基本的に実施しない●講師も生徒もマスクを着用●休憩時間は2回取る●休憩時間以外も水分補給を可能にする●会場の換気に配慮●寒い時期も閉めたままにせずドアと窓を開け換気する●保護者見学がない場合は自宅で授業の内容を説明することを宿題にする）

<http://www.sdck.jp/>

BLP Advanced (※BLP=Business Leadership Program)

株式会社日本HP

受賞して
よかった
こと

社内での認知度が上がった／社内でも評価された／社内での理解者が増えた／メディアに取り上げられた／学校からの問合せがあった／関わる外部機関が増えた

コロナ禍でみえたこと

キャリア教育はおおよそバディのような存在が学生たちと企業側に作れるかどうかの一つ大きな成功要因と踏んでいたことと、**接触頻度の量と質ともが重要**。そのため、オンラインだけでは希薄になり、**少なくともハイブリッド開催が必須**と感じた。

アニメ産業と教育の連携事業（現：アニメと教育の連携事業）

練馬区

練馬区の特色であるアニメを活用した教育プログラムに基づく授業を、区内小中学校で実施する。

受賞して
よかった
こと

メディアに取り上げられた
実施希望が増えた

コロナ禍でみえたこと

講師の生の授業を受けることができない子どもたちのモチベーションを維持させるのが難しかった。先生方のオンライン環境の習熟度が学校によって異なるため、**状況に応じた授業形態を考える必要**があった。

<https://animation-nerima.jp/nerima-and-animation/jigyuu/cooperation/>

わたしたちの工夫

学校の要望に応じて柔軟にプログラムの変更を検討した。

小学生向けキャリア教育プログラム

①「阪急阪神 ゆめ・まちチャレンジ隊」②「阪急 ゆめ・まちわくわくWORKプログラム」

阪急阪神ホールディングスグループ（阪急阪神ホールディングス株式会社、阪急電鉄株式会社、阪神電気鉄道株式会社 他29社）

「阪急阪神 ゆめ・まちチャレンジ隊」では、各社の事業に携わる社員が現場のノウハウに基づいて体験内容を企画・運営。身近なまちの職業を知り、将来の夢に向けたチャレンジを行う。「阪急 ゆめ・まち わくわくWORKプログラム」は小学校高学年向けに、まちの発展に情熱をかけた先人の知恵を学び、まちを支える様々な**仕事と自分の興味・関心との繋がりを考える機会**を提供。

受賞して
よかった
こと

社内でも評価された
社内での理解者が増えた

コロナ禍でみえたこと

話し合いや意見の共有が重要な内容の一つだが、コロナ感染予防でグループワークをあまり実施していない学校があり、**密にならないグループワークについて、学校側と協議を重ねた**。先生方も試行錯誤の最中であり、各校の事情に合わせた対応が求められた。

わたしたちの工夫

他校での実施例も参考にしてもらうため、**専任者1名が事前打合せ**、授業実施に全ての学校に同行した。年度初めの社内講師向け授業内容説明会は、**対面とオンラインを併用**した。

<https://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/top.html>

パナソニックのキャリア教育「学び支援プログラム」 オリンピックとパラリンピックを題材とした 教育プログラム

パナソニック株式会社

生徒が興味をもつオリンピックとパラリンピックを題材に社会課題について学び、
その解決方法を考えることにより新学習指導要領で重視される資質・能力の育成につなげ
るプログラム。中学校・高校を対象に授業で活用できる4つのプログラムを提供。

コロナ禍でみえたこと

オンライン教育の環境整備が進んだことが、GIGAスクール構
想に寄与していると感じている。パナソニックの学び支援
として先生方のお役に立つことと、プログラムの良さを
先生方にお伝えすることが必要であると考え、舵切りが必
要だと考えた。

わたしたちの工夫

元々プログラムが有している良さを、先生方のお役に立
てる形で正しくお伝えをする工夫を行った。本教材をオンライン
で活用した事例や、年間で達成すべき「単元」への本教材
の導入の仕方など、「事例ノウハウWebページ」として、Web
やメールを通じて発信した。

<https://www.panasonic.com/jp/corporate/sustainability/citizenship/child/education/program.html>

パナソニックのキャリア教育「学び支援プログラム」 私の行き方発見プログラム

パナソニック株式会社

生徒の主体的な進路選択の支援を目的に、**中学校の職業体験学習に合わせ授業で活用
できる4つのプログラム**を提供するとともに、一部の学校に対して当社の社員による出
前授業を実施。

コロナ禍でみえたこと

従来からの「対面」による出前授業の実施が困難となった一方、
学校からは**職業体験の代替として出前授業を実施したいと
いう声**を頂戴した。コロナ禍における「対面」出前授業は、学
校、社員講師双方の課題が多く、「オンライン」へのシフト
が急務であることがみえた。

わたしたちの工夫

これまでの学校ニーズは訪問による社員講師の生の姿で
あったが、**オンラインだからできるメリットを再検討し、遠
方の学校への実施/海外勤務の社員講師の参画等、訪問では
できないメリットを見出すことができた。**また、Webやメー
ルを通じてオンライン授業の実践例を紹介。

<https://www.panasonic.com/jp/corporate/sustainability/citizenship/pks/demae/career/powerup.html>

パナソニックのキャリア教育「学び支援プログラム」 キッド・ウィットネス・ニュース (KWN)

パナソニック株式会社

「今、つたえたいこと」をテーマに、**SDGs17の目標項目を意識しながら、生徒た
ちが自主的に5分以内の映像作品を制作。**年に1回コンテストを行い、表彰式を開催し
ている。学校へのサポートとして撮影機材を無償での貸与、希望校にはプロのカメラマン
や映像作家による機材の使い方や撮影手順を指導するワークショップを提供している。

コロナ禍でみえたこと

学校へのサポートを訪問形式からオンライン形式に変更した。
学校の**オンライン教育環境についてはまだバラつきがあり、**
また、**指導者のオンライン形式への苦手意識が課題となった。**
休校期間の長期化により十分な活動時間の確保が難しく、活動
を断念する学校もあった。

わたしたちの工夫

オンライン化に伴い、機材の貸与、ワークショップ等、
全活動のオンライン対応を行った。また、**オンラインであ
ることのメリットを活かし、遠方の学校へのサポート及
び特別講座を実施した。**講師1人に複数校の生徒が参加可能
となり、参加校同士の交流も生まれた。

<https://www.panasonic.com/jp/corporate/kwn.html>

パナソニックの出前授業 「理科・環境学習プログラム」～見て、触れて、実験を通じて楽しく学ぶ～

パナソニック株式会社 ライフソリューションズ社

主に電気エネルギーを題材とし、照明や家電製品をはじめとする暮
らしの中の省エネや、太陽光などの自然エネルギーの活用を通じて、
日常生活や身のまわりの環境問題に触れる。

受賞して
よかった
こと

社内での認知度が上がった
社内でも評価された
社内での理解者が増えた

コロナ禍でみえたこと

実験や観察を重視したプログラムのため**オンライン化対応
の仕方に苦慮した。**また、対面での場合においては、感染防
止対策に努めた。

わたしたちの工夫

オンラインでも授業内容を適切に伝えるために、「見せ方」
や「双方向のコミュニケーションの取り方」を工夫した。

<https://panasonic.co.jp/ls/company/education/>

オンライン授業として立ち上げたプログラム（データを活用して効果的な省エネを考えよう）は、**環境問題に取り組む中で身のまわりの消費電力に着目し、データをもとに効果的な省エネ方法を考え、実践した結果を発表**してもらった。事前授業は、弊社から資料を提供し学校で実施、オンライン授業で発表してもらった。

コロナ禍でみえたこと

出張型授業の実施ができなくなったことから、オンライン型授業に切り替えたが、現場に出向き対面で子どもたちと接する場合と違い、**オンライン上でのコミュニケーションを取る**ことが難しいと感じた。

<https://www.fujitsu.com/jp/about/environment/activities/education/>

わたしたちの工夫

出張型授業にこだわらず、**オンライン授業プログラムを1年以内に立ち上げたこと**。

地域（まち）の担い手づくりプログラム

ふくいの担い手づくりプロジェクト

理解力が中学生よりもあるので、以前のプログラムに進路選択や、より専門的な意見や深い意見も伝えるようにしている。

受賞して
よかった
こと

企業としての認知度が上がった
メディアに取り上げられた

コロナ禍でみえたこと

社会人の声を**直接生で聞けることがポイント**なので学校に外部の人間が入ることが制限されると開催自体が厳しい。学校のネット環境面では、何回線も外部とつなげるのかなどの**検証**など手間もかかる。

<https://www.facebook.com/ふくいの担い手づくりプロジェクト-1669227473343616/>

わたしたちの工夫

社会人講師の**感染予防の徹底**。感染の状況により当日キャンセルもあり得るとの周知。社会人講師に、各学校が徹底している予防策を細かく周知。**リモート開催検討**。

障がいを持った高校生に向けてのキャリア教育プログラム『スコラシステム』

運動、社会性、芸術、ITプログラムの実施をして、**総合的に社会性をはぐくむ**。同年代の仲間と関わりながら習得するまで繰り返しプログラムを行うことにより確実に社会性を身に付けていく。長期休暇や休日は作業体験や外出、余暇支援のイベントを実施し、自分の好き嫌い、得意不得意、余暇として続けたいことを体験を通して考えることができる。

社会福祉法人ぷろぼの

受賞して
よかった
こと

社内での認知度が上がった／社内で評価された／社内での理解者が増えた／社内で協力者や協力希望者が増えた／企業としての認知度が上がった／メディアに取り上げられた実施希望が増えた／関わる外部機関が増えた

コロナ禍でみえたこと

集団での外出ができない、**外部施設を利用しにくい状況**から体験内容が制限される。

わたしたちの工夫

事業所内でできるプログラム内容や、オンラインでも参加できる**内容に変更**した。

<https://probono.vport.org/schola/>

MoG (Mission on the Ground)

LiD (Leadership in developing countries) : 約2か月半をかけて大学生が取り組むフルオンラインリーダーシッププログラム。アジア新興国の社会起業家の経営課題をテーマにプロジェクトを実施。多業種の現役社会人の話を聞けるキャリアゼミや内省を促す1on1メンタリングなど、大学生のキャリア形成に繋がる機会も用意。**J-seek** : 日本全国のJリーグサッカーチームと協働した高校生向けの地域課題解決プログラム。地域に存在する様々な問題の解決のためJリーグチームを活用した施策を立案する。

認定NPO法人very50

受賞して
よかった
こと

社内での認知度が上がった／社内で評価された／社内での理解者が増えた／社内で協力者や協力希望者が増えた／企業としての認知度が上がった／学校からの問合せがあった／実施希望が増えた／関わる外部機関が増えた

コロナ禍でみえたこと

プログラム内における**現地ワークの実施ができない**ことが一番の課題。オンライン授業等でビジネスやキャリアなど様々なインプットの機会や大学生と社会人との交流・メンタリングの機会を提供することは可能だが、現地で海外・国内で実際に自分の手を動かし、足を動かし、問題解決プロジェクトを進めていく経験や直接の出会いが、学生の気づきやキャリア形成に大きく影響していたことを再認識。

わたしたちの工夫

ハイブリッド型、及びフルオンライン型で実施できるような国内プロジェクト、オンラインプログラムの開発・拡充。オンライン授業に適した動画コンテンツの開発、及び拡充。**地理的制約がなくなったからこそ、社会人メンターや大学生メンターの拡充**。メンターを増やすことでより生徒一人一人へのフィードバック量が増え、生徒のengagementを増やした。<https://very50.com/mog/>

41 教室で体験するインターンシップ「株の力」

株式について体験的に学ぶプログラム。生徒は当社のインターンとして、当社社員から株式の仕組みや機能についてクイズやゲーム等のアクティビティに取組ながら体験的に学び、自分たちが考える「株の力」とは何かを新聞広告の形で表現。講師は当社社員と学校教員が分担。

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

受賞して
よかった
こと

社内での認知度が上がった
社内での理解者が増えた
メディアに取り上げられた

コロナ禍でみえたこと

カリキュラムが遅延しているなどの事情から、今期の導入を見送った学校が多数。学校運営が正常化するまではこうした事情を汲みとりながら取り組む必要があると感じた。また、オンライン授業では、生徒との気軽な対話機会が損なわれる等のデメリットがある一方、オフィスと学校との距離に関係なく実施できる等という利点もある。

わたしたちの工夫

円滑にオンライン授業を実施するために、事前の設備確認、接続確認を入念に行った。ニーズや効果を見極め、改善しながら取り組んでいきたい。

https://www.sc.mufg.jp/company/sustainability/education_details.html#1

42 みつびしでんき科学教室

三菱電機株式会社

2009年から、電気や熱、音、光、風、通信やプログラミングなどにかかわる基本原理を、実験や工作を交えながら体感してもらう教室を開催。理科の楽しさを伝え、学んだ基本原理と製品とのかかわりを知ってもらい、製品が社会でどのように役立っているかも実感してもらう。科学的思考を育むとともに、モノづくりに対する喜びを感じてもらい、未来のエンジニアを育む一助とすることを目的としている。

受賞して
よかった
こと

社内での認知度が上がった／社内では評価された／メディアに取り上げられた
／学校からの問合せがあった／実施希望が増えた

コロナ禍でみえたこと

ソーシャルディスタンスの確保。人や物（実験機材）の接触に起因する感染予防。万が一、陽性者が確認された場合の社会的責任などを総合的に判断し、意見交換・相談の結果、ほぼ開催中止の判断となり、開催が困難な状態が続いている。

わたしたちの工夫

インターネットの活用により一部のコンテンツ公開を開始。オンラインでの科学教室開催準備を進めている。開催日直近の開催場所の感染状況により、開催可否判断を行う等、安全第一で取り組んでいる。

<https://www.mitsubishielectric.co.jp/corporate/philanthropy/science/index.html>

43 複数大学・企業参画による社会課題解決プロジェクト「UMEDAIインターンシップ」

一般社団法人 未来教育推進機構 / 株式会社ワークアカデミー

以下の方針のもと提供しているプログラム。

①社会課題解決型プロジェクトにより主体的、対話的な学びを働きながら実施。②クラウドサービスを活用し、テレワークスキルと遠隔協働コミュニケーションを習得。③複数大学の学生・企業人との活動で、ダイバーシティ社会の多様な人との関わり方を理解。④人生100年時代の社会人基礎力をベースにした独自開発ルーブリックで学生自ら活動を評価。⑤キャリアアドバイザーやベテラン社会人がサポートし活動フィードバック

受賞して
よかった
こと

社内での認知度が上がった／社内では評価された／社内での理解者が増えた／社内では協力者や協力希望者が増えた／企業としての認知度が上がった／メディアに取り上げられた／学校からの問合せがあった／関わる外部機関が増えた

コロナ禍でみえたこと

アイデア出し、企画立案といった活動では、やはり直接向かって話し合いができたほうが進みやすい場合がある。それを乗り切るための工夫が環境、ファシリテーション両面で必要である。「出会いによる成長」がコンセプトだが、企業人と直接会ってみたい、現場を生で見てみたい、という希望に十分に答えられない場合がある。

わたしたちの工夫

大学や参画企業の状況に合わせ、様々なオンラインツールで対応を行った。遠隔でもグループ活動が継続できるクラウド環境とその活用方法のレクチャー、サポートを行った受講者数を減らさないよう、オンラインによる広報イベントやプロモーション動画の提示など、自宅からも参加視聴できる形態で集客を行った。

<http://umedai.jp/>

44 中学生“自分再発見”プロジェクト

横須賀商工会議所

“よこすかで働く大人は、みんな子どもたちの先生”というスローガンを掲げ、横須賀地域の企業で働く大人を、マイタウンティーチャーとして学校に派遣し、働くことや仕事内容、生きがい・やりがい等について、子どもたちに伝える授業やディスカッションをする授業を展開している。

受賞して
よかった
こと

メディアに取り上げられた／実施希望が増えた／関わる外部機関が増えた／他市町村からの問合せが増えた／事例発表をする機会が増えた

コロナ禍でみえたこと

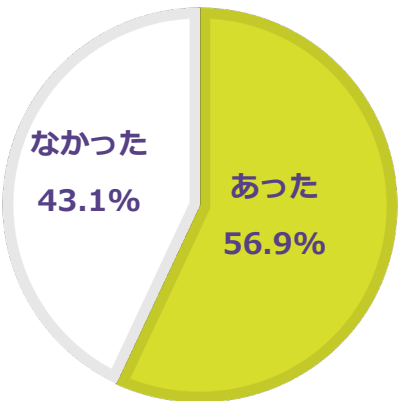
生徒と講師への感染防止対策を一番に考えたプログラムを構築すること。感染防止を重要事項としたことにより、派遣を断念した業種があった。

わたしたちの工夫

生徒と講師への感染防止対策を一番に考えたプログラムを構築したこと。

<https://www.yokosukacareer.com/>

内容に変更・改訂は？



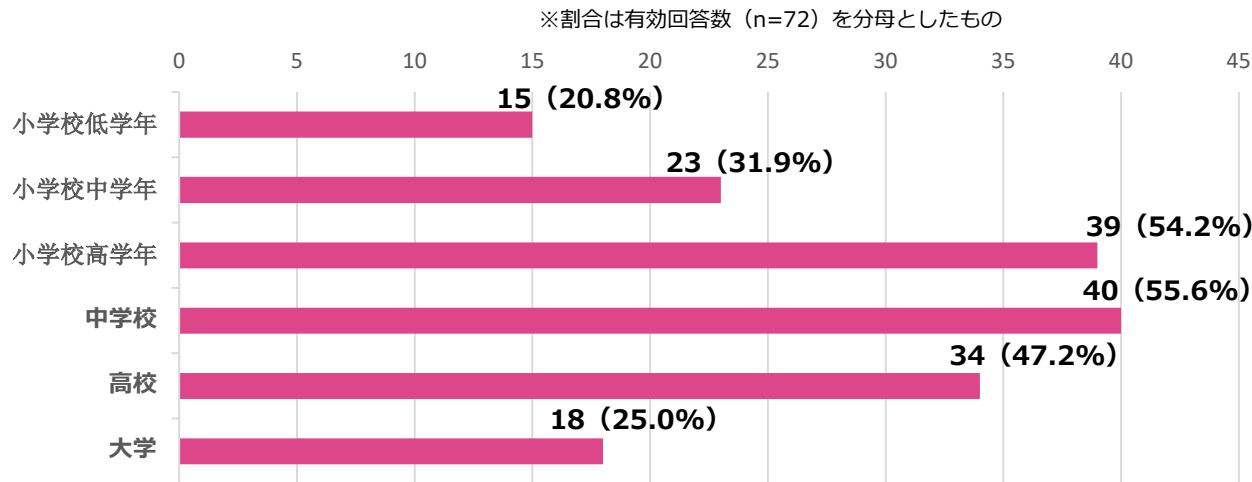
あった	41件
なかった	31件

※有効回答数72件

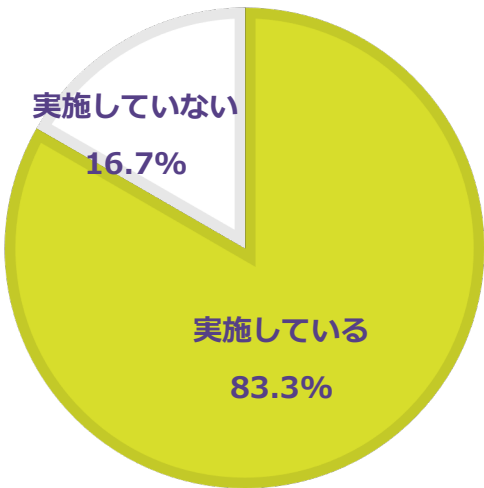
Point

キャリア教育アワードを受賞後も、半数以上の企業・団体が内容を変更・改訂しながら活動を継続している。

対象学年・校種（複数回答）



学校への事前ヒアリング・打合せの実施状況



実施している	60件
実施していない	12件

※有効回答数72件

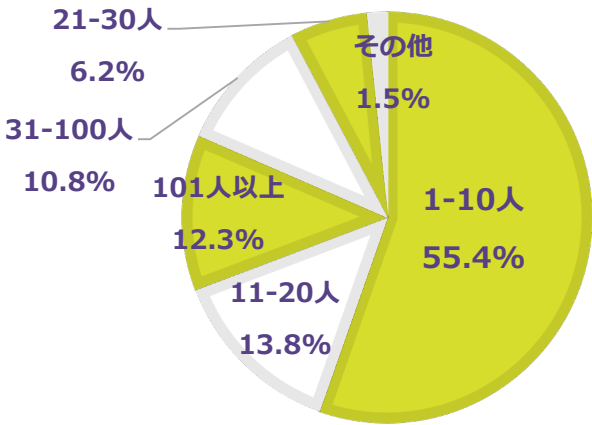
Point

ほとんどの企業が学校との事前ヒアリング・打合せを実施。学校のニーズに沿った活動を行っていることがうかがえる。

Point

ここでは、受賞した取組を支える運営体制について調査している。社内で関わる人数、社外の協力機関の数、広報活動の状況等は事業規模別に様々。**より多くの関係者を巻き込むことで更なる発展の可能性もある。**

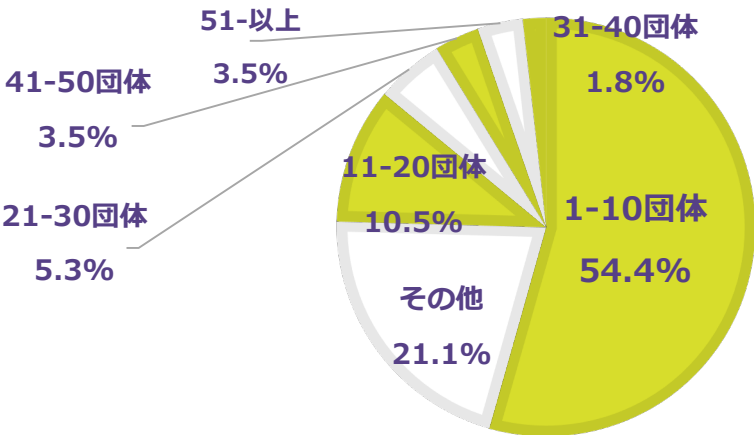
社内で関わる人数



1-10人	36件
11-20人	9件
21-30人	4件
31-100人	7件
101人以上	8件
その他	1件

※有効回答数65件

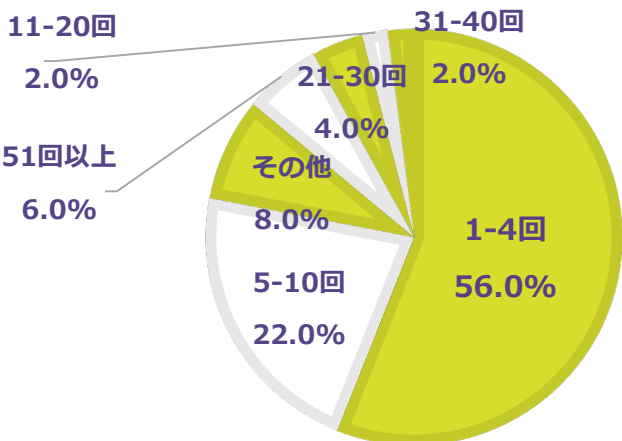
外部の協力機関・関係機関の数



1-10団体	31件
11-20団体	6件
21-30団体	3件
31-40団体	1件
41-50団体	2件
51-以上	2件
その他	12件

※有効回答数57件

社外への広報活動の回数

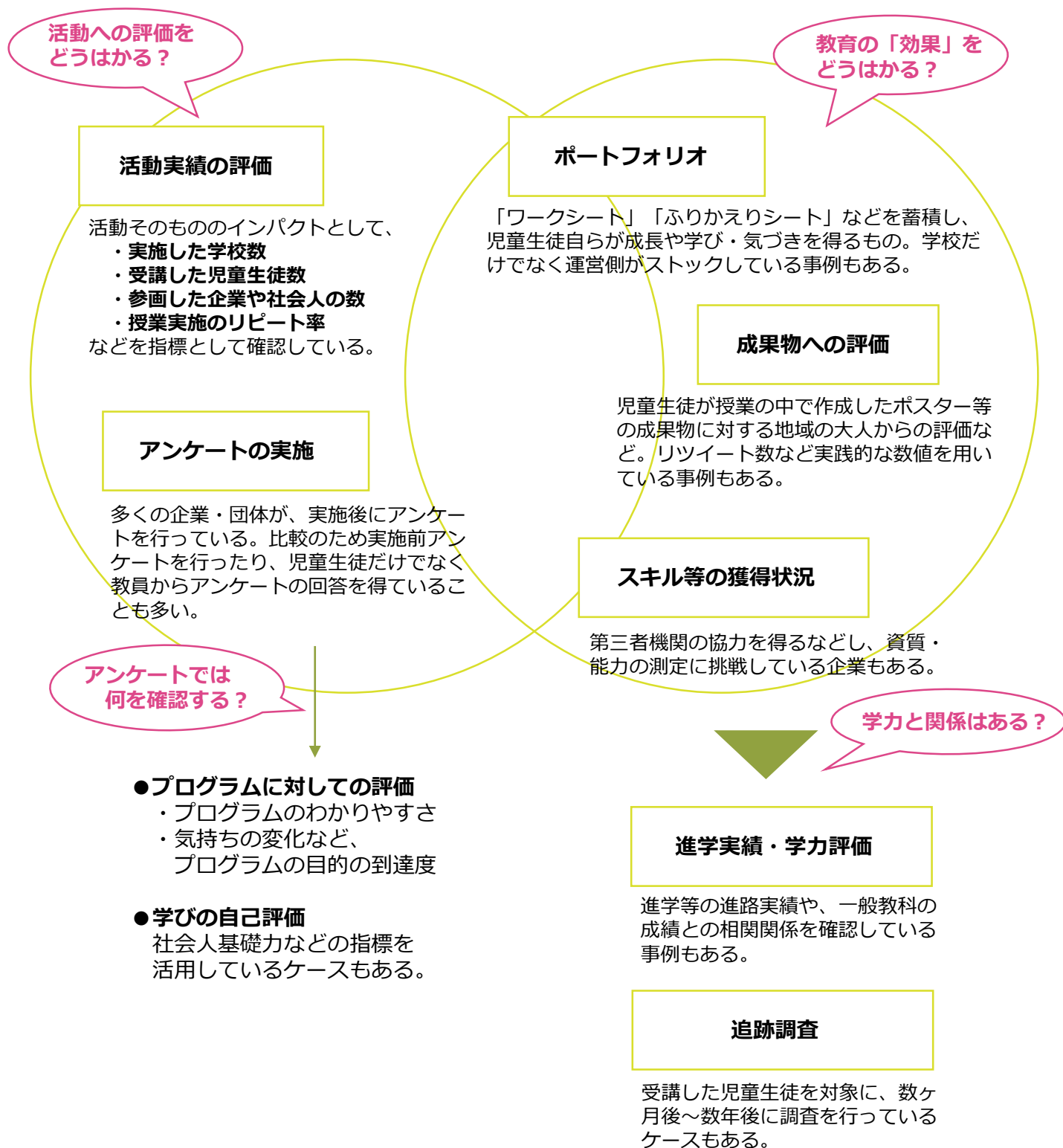


1-4回	28件
5-10回	11件
11-20回	1件
21-30回	2件
31-40回	1件
41-50回	0件
51回以上	3件
その他	4件

※有効回答数50件

効果測定の実施状況（考察）

効果測定の実施状況に関しては、フリーアンサー形式で回答を得ている。ここでは、回答内容を分類し、どのような方法で効果測定が行われているか、その全体像を俯瞰する。

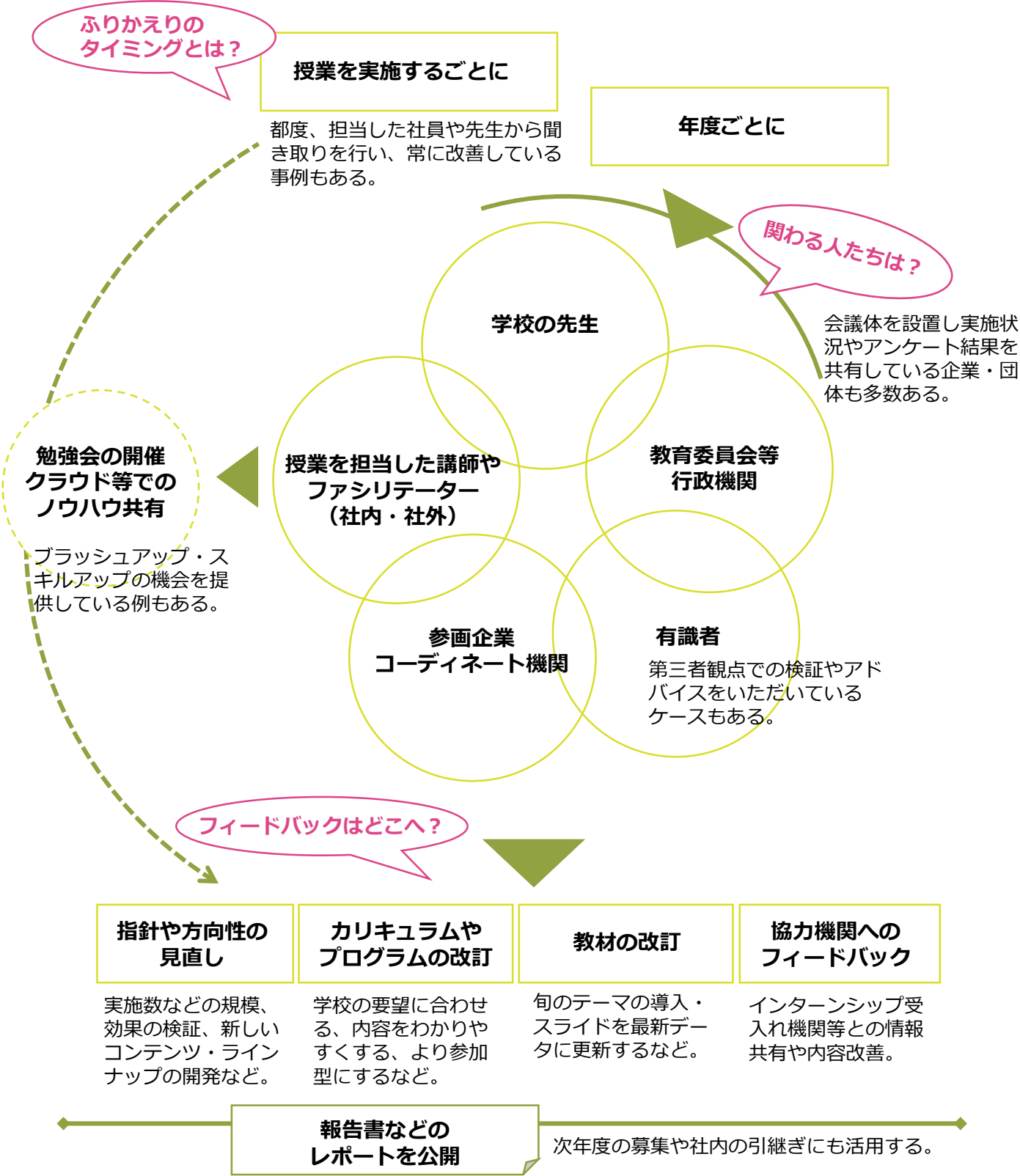


効果測定の実施状況

- 開催校依頼数・参加児童生徒数・参加職業人数の推移を計測している。先生や児童生徒の実施後アンケートを実施している。
- プログラム終了後、参加者全員へのアンケート調査を実施。また複数の参加者とオンラインによるインタビュー調査も実施し、より具体的に参加者のプログラム参加前と参加後の効果を理解し、次のプログラム運営、内容へと反映させている。
- プログラム実施前・中・後に話し合いに対する5段階の意識調査をワークシートによるふりかえりと同時に実施。授業中に児童生徒が携行するワークシートに調査内容を盛り込むことで児童自身がプログラム実施前後の自分の意識の変化、成長を感じることができるようにした。授業の理解度・気づきについても毎授業時間内または当日のHRを活用し、まとめと気づきをワークシートに記載したものを確認することで把握した。
- 授業の最終回にプログラム内容や改善に関するアンケートを生徒、教員それぞれに実施している。
- ワークの取組が全て終了した時点で「自己評価シート」を記入し提出。活動を通して、社会で必要となる力がどれだけ身についたかを生徒自身がチェックし、これからの毎日に生かしていくためのふりかえりを目的とする。
- 学生から講師への課題レポート提出（学生の成績評価）と学生から学校側に提出する講師に対する評価アンケート（通常、講師へもフィードバック）に加えて、担当教授（参加の場合）からの総合評価の提供を受ける。
- ふりかえりシート「ポートフォリオ」に複写紙を用い、子どもと運営側の双方がポートフォリオをストックできるようにしている。ポートフォリオでは何がうまくいったのか、何がうまくいかなかったのか、なぜうまくいったのか、なぜうまくいかなかったのか、次はどうしたいのか、そのためにどんな工夫をするのかといったふりかえりを行うことができ、その内容により事業の効果を測定する。
- 生徒・児童自身に活動内容と、得た気づきなどを活動報告書としてまとめ、提出。取り組む以前と比較して、以下の点でどれくらい成長したかを、審査の視点としている。具体的にはチャレンジ度（どれだけ行動したか、行動の実践度等）、人間的成長度（主体性を発揮できたかどうか、気づきの深さの度合い等）の2軸を効果測定指標としている。
- 研究指定校であった公立中学校では、一連の授業（8コマ）の前（中学1年時）と後（中学3年時）で、生徒に自信の有無等を尋ねた効果を測定したほか、一般教科の学力との相関も測定し、高校進学後も聞き取り調査を行った。公立小学校では、授業（6コマ）の実施前後にプレゼンに対する心構えや自分に対する自信について問うアンケートを実施。今後も有識者との共同研究を希望している。
- 事前と事後に児童にアンケート、事後に受け入れ事業者と保護者にアンケートを取っている。出来上がったポスターを地域のショッピングモールに一堂に展示し、感想をノートに書いてもらっている。
- 地元企業の代表者等から製作物や各校の取組全般に関する意見・アドバイスを聞き、それを各校にフィードバックしている。
- 中高生が作った作品へのリツイート数、参加者数、参加高校数の測定。
- 提供開始当初より社会人基礎力ベースの自己評価をWebアンケートで受講者に記入してもらい、その結果を分析している。今年はオンライン開催形式のため、自宅で入力をお願いしたが全員から回答を得ている。また、事務局によるフィードバック評価も行い、その結果と合わせて学生に返却している。今年度は参画企業の若手社員育成研修を同時に行い、口頭でのアンケート時、「効果が大きいにあった」との回答をいただいている。
- 授業を受講してきた子どもたちへ追跡アンケート
- 第三者機関による「社会的インパクト評価」を年1回実施。映像制作により期待できる子どもたちの「9つの成長分野」をベースに、子どもたちに与える影響を検証している。
- プログラムを受講した高校生の進路実績（就職、進学）を測定。
- キャリア教育から就職活動までのプロセスにおいて、学生のキャリア観・価値観・行動にどのような変容があったか、成長を実感できているか、就職先を選定するうえでの影響度を測る仕組みを構築中。また、卒業した学生が入社後に活躍していると実感しているかどうかは今後は測っていきたい。

ふりかえりの実施状況（考察）

活動のふりかえりについても、フリーアンサー形式で回答を得ている。ここでは、どのような体制・方法でふりかえりを行っているか、回答を基に整理。受賞企業・団体は、改善・継続のために様々な視点から定期的なふりかえりを行っていることがうかがえる。



ふりかえりの実施状況

- 年度ごとに実施事例等を報告書として取りまとめている。
- 学校現場のニーズや世の中の動きを見ながら、年度頭にプログラムの是非を社内を確認している。また、必要に応じて新たにプログラムを立ち上げている。
- 都度参加メンバーからの聞き取りとシステムへの反映。
- 児童&教員から頂いたアンケートを全て入力し、社内にて共有。教員や出前授業講師から頂いた意見は、年度ごとにまとめ、次年度からのカリキュラム内容及び講師向け勉強会に活かしている。
- 授業を担当した社員等と年度ごとにふりかえりを行い、次年度の改訂につなげている。
- 部署内、社内にてふりかえりの機会を設け、実施内容について共有。協力機関とのふりかえりと、次年度の実施回数や取組内容について協議を実施。
- アンケートやコメントを参考に年度のふりかえりを行い、プログラムに組み込まれている株価チャートの更新や、スライドの入替え等の改訂を行っている。
- 新年度の開始時期に当該業務を担当する社員で会議を行い、ふりかえりを実施している。ふりかえりて出た講師社員の意見や学校からのアンケートなどを基に、実施学年や障がいの度合いなどに合わせたカリキュラム（プログラム）の見直しを実施している。
- 学校→講師、学校→当所、講師→当所の「3つのフィードバック」をベースとして、翌年度へ「フィードフォワード」（改善申し送り）している。当該年度の専任コーディネーターが、1年間を通じて得た経験や事例を踏まえ、翌年度に使用する募集要項（実施要項を兼ねる）へ反映させることで、毎年、着実な改善につなげている。つまり、この募集要項が、専任コーディネーター間の引継書となり、生きたバトンとして受け継がれている。
- 大学・大学院側との年度ごとの評価・反省等を行い、次年度に向けた擦り合わせ（継続有無、継続の場合の内容見直し等）を実施している。
- 先生との意見交換会や事務局内部でのふりかえり会を行い、課題や改善事項を整理している。
- ふりかえりは各授業ごとに行っており、授業のスライドやワークシートをクラウドで共有、講師間でお互いに見られるようにしている。また、認定講師資格者については毎月、ファシリテーター資格者については年間3回の勉強会を無償で実施し、授業に参画する資格者のブラッシュアップとリテンションを図っている。理事会を年に2回、社員総会を1回開催し、事業報告を実施。フィードバックを得ている。
- 6～7月頃に、教育委員会と打合せを行ってふりかえり、改訂すべきところがあれば相談をしている。
- 年度ごとにとどまらず、受講者アンケートや継続的な反省会などを実施してプログラム内容を改訂している。
- 当所、市教委、担当校におけるキャリア教育担当教員の出席の下、年に2回担当者会を開催し、年度のふりかえりと事業検証を実施。
- 実践後に、効果測定の結果を見ながら先生方とふりかえりをし、次年度への改善を検討している。
- 実施メンバーからの改善点を聞き、見直しを実施。
- 年度末に活動の総括とプログラムの改訂を実施。
- スタッフ全員が参加するプログラムふりかえり会議を実施し、教育プログラムの開発担当者の報告やアンケートやインタビュー結果を踏まえ、次年度も継続することや改訂案を議論、決定。現役教師や官民など様々な業種・業界の外部アドバイザーからの第三者意見も収集し、会議内で検討している。
- 実施の学校ごとに社員全体でふりかえりと次に向けてのアップデートを行い、1年が終わると全体総括のふりかえり、次年度のディレクターチームへの引継ぎを行う。
- 会議体を設け、区の担当者、有識者、ゲスト講師も含め、関係者全員で報告及び意見交換を広く行っている。

(参考) キャリア教育アワードの概要

公募

大企業、中小企業、コーディネーターの3部門について、それぞれ実施

- 表彰年度に実施した教育支援の取組であること
- 活動内容の公表が可能であること
- 学校教育に対する支援を行っている場合には、支援を実施している学校から、応募に係る一切の事項について了承を得ていること

※一度受賞した企業・団体も応募することが可能です。
大賞、最優秀賞受賞案件については、受賞後3年の経過が必要です。

審査

①大企業／中小企業の部

- 継続性：PDSAサイクルが実行されているか
- 普及性：企業・団体の活動規模に応じた展開か
- 汎用性：教育ニーズに対応した取組か
- 企画性：プログラムの内容に工夫があるか
- キャリア教育としての教育効果：社会的・職業的自立に向けた力の育成支援となっているか

②コーディネーターの部

- 有効性：職業的自立に向けた教育効果の向上に貢献する支援サービスを提供しているか
- 支援実績：多くの企業・学校・若者に支援サービスを適用しているか
- 産学関係構築への貢献：産学関係者が相互理解を深め、協働するための関係構築に貢献しているか

※2019年度より、それぞれの部門に以下の要素が審査項目として追加

- 複数年度にまたがり、継続的なPDSAサイクルが具体化されていること
- 定性的な情報だけでなく、定量的なKPIを設定していること
- 定量的なKPIに「プログラムを通じて受講者の意欲・態度や能力がどのように変容したかというアウトカム評価」が含まれていること
- 実施初年度の場合は、上記が関係者の合意をもって具体的に計画されていること

表彰

表彰状及び副賞を授与

● その他、部門ごとの審査基準や審査項目などの詳細はこちらをCHECK！
https://www.meti.go.jp/policy/economy/jinzai/career-education/award_entry.html



**「コロナ禍でも学びを止めない！キャリア教育レポート
～キャリア教育アワード受賞企業・団体がみた2020年～」**
発行：経済産業省経済産業政策局産業人材政策室
「令和2年度キャリア教育事業調査」より（令和3年3月）

